

〈資料紹介〉

アイヌ文献目録 2004

アイヌ文献目録編集会

目次 はじめに—アイヌ文化研究に関する文献目録の現状と課題—

謝辞

凡例

文献目録

2004

2003補遺

はじめに—アイヌ文化研究に関する文献目録の現状と課題—

この目録は、ひろくアイヌ文化に関わる諸分野の学習・研究のための基礎的条件整備の一環として、アイヌ文化関係の文献に関する総合的な目録を編さんし公刊する目的のもとに、作成しているものである。今回は、昨年度に掲載した「アイヌ文献目録2003」（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第11号、2005年3月）に続く2回目となる。

目録編さんに当たっての編者の意図及び当面の計画などについては、前回の「はしがき」において述べた⁽¹⁾ので、今回は、アイヌ文化研究に関する文献目録の現状と課題に関する編者なりの整理を示し、この目録の意義と位置に関する補足説明としたい。

あらゆる分野において、それに関するどのような文献があるかという情報は学習・研究のための基礎的条件として必須の位置を占める。また、網羅的な目録であれば、全体を通覧することでときどきの議論や関心の動向などをうかがうこともできよう。

実際、文学、歴史学、言語学、民族学等の様々な分野で、その分野における総合的な文献目録が発行されている。特に近年は、総合的な、あるいは個々の研究主題に即した、各種の文献データベースの整備が進んでいる。しかしながら、アイヌ文化やアイヌ史については、以下に見るとおり、こうした文献情報の集約が立ち遅れていると言わざるを得ない。

(1) このほか、広報紙『アイヌ民族文化研究センターだより』第23号（2005年9月）でも、「「アイヌ文献目録2003」について」と題して、この目録編さん作業の概要を紹介した。

1) 日本における学術文献に関する網羅的な文献情報としては、国立国会図書館による雑誌記事索引、国立情報学研究所による論文情報ナビゲータなどがあり、いわゆる一般誌などを対象としたものとしては大宅壮一文庫の記事索引が充実しており、さらにそれらを総合した内容を目指しているものとして日外アソシエーツ社による MAGAZINEPLUS などがある。これらの多くはインターネット上からの利用が可能である⁽²⁾。近年におけるこれらの検索方法の拡充ぶりにはめざましいものがあり、この趨勢は今後もしばらく続くものと思われる。実際、アイヌ文化に関しても、これらを通じて相当量の情報を引き出すことができる⁽³⁾。

ただしこれらは、大学の研究紀要や全国規模の雑誌を主な対象としており、アイヌ文化研究にとって重要な情報を含む、地方自治体や地域出版による刊行物の情報の欠落が少なくない。また、入力されている情報は、大宅壮一文庫を除けば比較的近年のものに限定されている。順次、入力対象文献の拡大や遡及入力が進んでいるとはいえ、当分の間は、アイヌ文化に関する文献目録として見た場合、収録年代・収録範囲それぞれに限界を有せざるを得ないと思うのである。

2) アイヌ文化関係の文献目録や現在提供されている学術情報の主なものとしては、次のような出版物やデータベースを挙げることができる⁽⁴⁾。いずれも、それぞれに重要な位置を占めているが、調査・収録の範囲や方法において、アイヌ文化に関する文献情報としては物足りない点も抱えている。

- ・松下亘・君尹彦『アイヌ文献目録 和文編』(みやま書房、1978年) これまでに刊行された文献目録の中でもっとも収録点数が多く(「明治以前の文献」1055点、「明治元年から昭和五十年までの文献」8385件、他に補遺若干)、かつ網羅的である。ただし、収録対象が1975年以前であるため、当然ながらこれ以後に出版された文献については使うことができない。また収録対象時期の文献についても遺漏が見られる。

- ・煎本孝『AINU BIBLIOGRAPHY』(北海道大学、1992年) 主に学術資料を対象とした文献目録であり、1991年までを対象に約3400件を収録している。序文に「specifically prepared for international use」とあるとおり、本文は英文表記を主としていることが特徴である。ただ、国内外の主要図書館を対象とした蔵書調査に基づくデータである点とも併せ、文献目録としてみた場合には相対的にみて収録点数が少ないと言わざるを得ない。

(2) 国会図書館の雑誌記事索引は学術論文ナビゲータ及び MAGAZINEPLUS にも含まれており、それぞれのデータベースの主要な基盤になっている。なお、2005年12月時点において、雑誌記事索引は無料、学術論文ナビゲータは検索と一部の本文までの利用は無料、大宅壮一文庫の索引は CD-ROM で頒布されており、MAGAZINEPLUS の利用は有料となっている。大宅壮一文庫及び MAGAZINEPLUS は、それらを購入している公共図書館であれば一般の利用も可能である。

(3) 試みに、国立情報学研究所の論文情報ナビゲータを、2006年2月中旬時点においてキーワード「アイヌ」、検索範囲を2004年発行で検索すると、82件の情報がヒットする。

(4) アイヌ関係の目録、書誌、各種の辞典・事典などのいわゆる参考図書類は、ここに挙げた他にも多数ある。これらを概観するには、さしあたり北海道立図書館北方資料室編「北海道立図書館 北方資料参考図書解説目録4 アイヌ資料」(『北の資料』109号、北海道立図書館、2002年12月。同館のホームページ上でも PDF ファイルによる閲覧が可能である) がまとまっている。

・『アイヌ文献データベース 書籍編 1868-2000』（北海道読書新聞社、2002年） 明治以降2000年までに発行された和文書籍訳4000件を収録している。CD-ROM 及びインターネットによりデータベースとして刊行されている点が特長である。しかし、主要な図書館の蔵書目録に基づき、かつ書籍＝単行本のみを対象として作成されているため、それらの図書館が所蔵していない図書が含まれていないこと、文献点数において過半を占める紀要論文や雑誌記事などがほとんど収録されていないこと（図書館で単行本扱いで所蔵されている論文の抜刷類のみ若干含まれている）などの問題が残っている。

・笹倉いる美「のるりすと 北方研究データベース」（北海道立北方民族博物館、1994年～継続刊行中） 『北海道立北方民族博物館研究紀要』 3号（1994年）に佐々木亨・笹倉いる美「のるりすと・ミュゼランド 1993 北方研究・博物館学データベース」として北方研究及び博物館学の文献情報として掲載開始、同6号より笹倉いる美「のるりすと 1996 北方研究データベース」となり現在に続いている。アイヌ文化だけでなくいわゆる北方関係の歴史・言語・民族学の研究者に毎年1年間に執筆した文献の情報を提供してもらい、それらを取りまとめたものである。毎年継続して作成され蓄積が進んでいること、インターネット上での閲覧も可能であること（同館のホームページ上から利用できる）、提供者によっては学術論文ばかりでなく新聞記事等も収録していることなどが特長であるが、アンケート形式により収集した情報をまとめたものであるため、収録範囲は回答された情報にとどまることに留意が必要である。

3) このような中で、『アイヌ年誌』（1988年～、アイヌ無形文化伝承保存会）⁽⁵⁾ が収録してきた「文献情報」は、掲載点数の多さ、書誌事項の詳細さに加え、次のような点で今後の蓄積の範とすべき要素を含んでいる。

- ・原則として編集担当者が実際に文献を確認して掲載していること：これは目録づくりの基本であるばかりでなく、孫引き的な場合に生じやすい誤記を予防できるほか、当該論文を掲載した雑誌の編集後記や前号の予告記事など周辺情報を得やすい等のメリットがある。
- ・編集担当者内部で調査範囲を記録し、将来にわたる段階的な調査の蓄積と拡大のための素地を意識的に形成していること

しかし残念ながら、この『アイヌ年誌』は、事情によりアイヌ無形文化伝承保存会内部での編集業務が1999年分のデータ収集で打ち切りとなっている。

4) 以上を通じて、既存の出版物やデータベースは、アイヌ文化・アイヌ史に関する情報資源として見た場合、調査・収録の範囲や方法に何らかの限界を抱えており、比較的すぐれた目録であっ

(5) 『アイヌ年誌』は、基本的には年間の主要な新聞記事とそれに基づく行事・催物の記録をまとめた第1部と、年間の文献情報をまとめた第2部（「文献一覧」）からなる。1988年にアイヌ年誌刊行会が編集・発行し、4・5合併号（1990・91年版）よりアイヌ年誌編集会編、アイヌ無形文化伝承保存会発行、1995年版からはアイヌ無形文化伝承保存会編・発行となった。

でも継続刊行されていないという状態にあることを確認できる。

これらの点を打開するためには、『アイヌ年誌』が有していた方法、すなわち①調査の範囲が網羅的であるか、ないしはそれを目標に据え段階的・体系的な調査対象の設定と拡大を行うべきこと②調査方法は、なるべく直接かつ悉皆的であるべきことの二点を踏襲しつつ、その成果は継続性を持って蓄積することが求められるだろう。本目録は、このような認識に基づくものである。

そして、このようなかたちでアイヌ文化研究の基礎的情報を収集し整理し提供していくことは、「アイヌ民族文化に関する調査研究等を行い、その成果の普及等を図り、もってアイヌ民族文化の振興に寄与する」ことをを設置目的に掲げ、「アイヌ民族文化に関する情報の収集及び提供を行う」ことを主要な事業の一つに掲げている⁽⁶⁾、この北海道立アイヌ民族文化研究センターが果たしていくべき大切な役割の一つであるとも考える。本目録をこの北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要に掲載するのは、かかる事由による。

【謝 辞】

今回もまた、目録の作成に当たって、下記の機関・個人から教示または協力を受けた。文献の閲覧では、これ以外にも多くの機関のお世話になっている。記して感謝したい。参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、北海道立アイヌ総合センター、アイヌ民族博物館、帯広市図書館

北海道大学附属図書館、石原誠、本田優子、秋野茂樹

（小川正人）

(6) 引用はいずれも「北海道立アイヌ民族文化研究センター条例」（1994年3月31日公布、北海道条例第4号）による。

[凡 例]

1 (収録の範囲)

2004年の1年間に、図書・雑誌（新聞を除く）のかたちで発行された文献、またはそれらに収録された論文・記事であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。

日本語を主体とする雑誌・単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがあ

る。
包括的にとりあげることが文献検索上便宜的であると考えた場合は、アイヌを直接の主題とするものではない文献についても、やや広い範囲で収録している。例えば文献目録・書誌の類については北海道・北方を主題とするものを広く収録する等である。逆に、例えば本文中に登場する地名や単語若干についてアイヌ語訳などを示している程度の場合は割愛したことが多い。

2 (配列)

おおよそ発行月日順に配列し、通覧の便宜を考え月ごとに区切りを設けた。

発行日は奥付の記載に準拠している。

発行日の記載がないもの、日付を確認できなかったものは当該月の末尾に記載した。月日の記載がないか、または確認できなかったものは原則として12月の後に記載した。

3 (記載事項と書式)

アイヌを主題とした単行本・雑誌については、編著者名、表題、巻号（雑誌のみ）、発行者、判型、ページ数の各項目を掲載した。編著者名と表題は太字で示した。

単行本・雑誌中の論文・記事については、最初に所収書の編著者名、表題、巻号等を掲載し、その下の行に、論文・記事の編著者名、表題、掲載ページを記載している。論文・記事の編著者名と表題は太字で示した。

編著者名、表題などの記載は奥付または表紙・背等の記載に従った。ただし副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。

記事・論文の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは〔 〕で括って示した。

初出に関する情報、単行本・雑誌の構成に関する情報などは本データの下に文字を小さくして挿入した。

〔 〕内は編者による注記・補足である。

文献目録

2004年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年1月】						
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化2 カマイ・ユーカラを訪ねて 内容：『ミソサザイの神に語った話』 トシロポッという鳥の話	301		グラフ旭川	B4	76 65
岡村正吉	ポルカノ 創作 岡村正吉自分史2	9	1	33 道南政経	B5	70～73
馬場昭	郷土誌あさひかわ おじたりあんノート144 幸恵の道・銀のしずくの道!!	45	1	456 郷土誌「あさひかわ」	B6	94 35
	知里森舎通信		9	知里森舎	A4	14
遠藤匡俊	地理学評論 1800年代初期のアイヌの社会構造と命名規則の空間的適用範囲	77	1	日本地理学会(発売：古今書院)	B5	19～39
本間愛之	文化情報 文化の花開く北の若者たち11 旭川龍谷高校郷土部		261	北海道文化財保護協会	B4	8 2
楢原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.5 和人は舟を食う	34	1	397 水交社	B5変型	154 102～103
アイヌ問題特別取材班 アイヌ問題特別取材班	北方ジャーナル 原稿をボツにした記者が謝罪 ウタリ協会の病根をえぐる 3	33	1	411 北方ジャーナル	A4	118 12～13 14～21
『飛磔』編集委員会(編) 北川しま子 太田マルクオッカイ満	飛磔 インカルシュベ・ヌプリのカミノミ アイヌ文学への招待3 フキノトウは食べたか?		41	つぶて書房(発売：れんが書房新社)	A5	156 108～111 112～115
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その8 「加賀屋伝蔵」と「子モロ(根室)地方」		54	別海町郷土資料館	A4	2 2
白老町企画課元気まち推進係(編) 中村齋	げんき アイヌ千一夜物語17 コタン・コロ・クル		521	白老町企画課元気まち推進係	A4	19 10
国立民族学博物館(編) 大塚和義 知里むつみ(文)、岡島礼子(絵) 村木美幸	月刊みんぱく 特別展「アイヌからのメッセージ」より ものづくりと心 木彫家としての萱野茂 『アイヌ神謡集』をよむ いまも心あたたまる炉辺のうた 〔民族博物誌〕113 サケ	28	1	316 千里文化財団	B5	24 10～13 11 14～16 20～21
	シサム通信		142	シサム通信編集委員会	B5	15
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信 アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 1		53	オホーツク文化資料館	B5	4 229～231
浅野敏昭	余市町の文化財 町内の指定文化財を紹介。「旧下ヨイチ運上家」「アイヌ絵(武者のぼり下絵)」「ヨイチ御場所上運上家関係古文書」などあり。			北海信金地域振興基金	B5	38
堀内光一	アイヌモシリ奪回 検証・アイヌ共有財産訴訟 はじめに アイヌ史の空白部分〔旧土人共有財産〕の真実解明にむけて／第Ⅰ部 日本近代の幕開けと蝦夷地併合／第Ⅱ部 アイヌ保護地制度の誕生と黄昏／第Ⅲ部 われらの大地が奪われていく：厚岸町アイヌ共有財産の場合／第Ⅳ部 裁かれるアイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版は草風館より2月10日発行。			社会評論社	B6	348
小川隆吉	『アイヌモシリ奪回』刊行に寄せて					341～344
久保寺逸彦(編訳)	アイヌの神謡 Ⅰ 神謡／Ⅱ 聖伝／アイヌ民族の歌謡：解説に代えて アイヌの神謡と聖伝の現代語訳版。久保寺逸彦『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』(1977年、岩波書店)の「説話編」として構想されながら刊行時に割愛されていたもの。刊行に当たって解説として久保寺逸彦「アイヌ民族の歌謡」を付す。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版は草風館より2月10日発行。			アイヌ文化良書刊行会	A5	484
久保寺逸彦	アイヌ民族の歌謡：解説に代えて 初出は『フィロハーモニー』23巻4-6号、1951年。初出時の表題は「アイヌ民族の歌謡」。					439～484

2004年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	ロングフェロー日本滞在記 : 明治初年、アメリカ青年の見たニッポン			平凡社	A5	404
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	アイヌの土地へ 所収書第3章。この章の前後や他の箇所にも関連記述若干あり。					67～96
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	蝦夷画写真集 所収書付録五。					257～272
トーマス・ゴールド・アップルトン(著)、山下久美子(訳)	解説 チャールズ・ロングフェローの「蝦夷画」写真集 所収書付録五。					273～288
北海道埋蔵文化財センター	調査年報16 平成15年度			北海道埋蔵文化財センター	A4	96
北海道立北方民族博物館 (編)	北方民族博物館だより	52		北海道立北方民族博物館	A4	8
	サハリンアイヌのトンコリ (五弦琴) 表紙写真。 金谷栄二郎氏製作					1
山路勝彦	台湾の植民地統治 : 〈無主の野蛮人〉という言葉説の展開			日本図書センター	A5	336
山路勝彦	アイヌと台湾					54～62
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない	674		静内町	A4	19
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 レタッ・タツ (シラカバ)					後表紙
知里真志保を語る会	アイヌ神謡集超入門 Ⅰ「アイヌ神謡集」って、どんな本? / Ⅱアイヌ神謡集超入門 / Ⅲ『アイヌ神謡集超入門』用単語集			知里真志保を語る会	A4	[154]
北海道ウタリ協会	先駆者の集い 年頭にあたって/アイヌ語指導者研修会/平成15年度アイヌ文化賞・アイヌ文化奨励賞贈呈式/第39回北海道文化財保護功労賞表彰式/第16回アイヌ民族文化祭/アイヌ伝統工芸展沖縄/十勝沖地震被災者への義捐金について/北海道ウタリ協会への寄付金お礼について/事務局だより	97		北海道ウタリ協会	B5	8
中川裕、中本ムツ子	CD エクスプレス アイヌ語 『エクスプレス アイヌ語』(1997年)にCDを付したもの。CD吹込みは中本ムツ子、住山頼子による。				A5	135
萱野茂(文)、飯島俊一(絵)	The Ainu : A Story of Japan's Original People 『アイヌ ネノアン アイヌ』の英訳版。			チャールズ・イー・タトル商会	B5	
吉田憲司	あいだ 「フォーラム」を睥睨するのは誰か : 犬塚康博氏による「『アイヌからのメッセージ』展の吉田憲司フォーラム論批判」をたどす	9		『あいだ』の会	B5	44 2～19
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 〔表紙写真解説: オシヌプリに関する伝説を紹介〕 平取町歴史の散歩道〔ブライアントを紹介〕 平取町のチャシ&遺物 No. 9 ユオイチャシ跡	12		沙流川歴史館	A4	8 1 2 4
北海道立文書館 (編)	赤れんが	38		北海道立文書館	A4	8
熊崎農夫博	〔わが町の古文書〕〈厚岸町〉太田紋助史料について					4
〔北海道大学総合博物館〕	北海道大学総合博物館ニュース 第4回企画展「アイヌ民族楽器 : ムックリ・トンコリ」	8		北海道大学総合博物館	A4	10 4
アイヌ文化振興・研究推進機構 (編)	平成15年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 4 講師萱野茂			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32
日本史研究会 (編)	日本史研究 書評 児島恭子著『アイヌ民族史の研究 蝦夷・アイヌ親の歴史の変遷』	497		日本史研究会	A5	72～75
谷本晃久	広報びらとり	531		平取町役場	A4	14
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	ふるさと物語 民芸品が軒を並べ、商店街の基礎をつくった					14

2004年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年2月】						
	戦争と改憲に抗するアイヌ民族連帯運動の前進を！			「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！全国実行委員会	B5	41
	第7師団と旭川アイヌ(川村シンリツ エオリバックアイヌ)/アイヌ民族はよびかける 2月1日に開催された集会の報告集。発行月日記載なし。この目録への記載は集会開催日によった。					
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化3 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：『国づくりの神々』の話 (1)		302	グラフ旭川	B4	62 49
	月刊いぶり		1(創刊号)	いぶり政経研究所	B5	61
	コタンの風景1 アイヌ文化の今 ユーカラを伝え続ける知里家の女性たち					34
斎藤環	文学界 「怒り」の批評をめぐる 連載「文学の徴候」第13回	58	2	文藝春秋	A5	328 281～287
榎原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 6	34	2	398 水交社	B5変型	146 113～115
アイヌ問題取材班	北方ジャーナル ウタリ協会の病根をえぐる 4	33	2	412 北方ジャーナル	A4	106 24～31
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その9		55	別海町郷土資料館	A4	2 2
ANA「翼の王国」編集部	翼の王国 ユーカラ劇・アイヌ英雄叙事詩/「天駆ける英雄の物語」公演 日米交流150周年記念事業/ミュージック・フロム・ジャパン/2004年音楽祭		416	ANA「翼の王国」編集部	B5変型	146 122 123
赤井川村教育委員会(編) 岡田義明	赤井川村史 赤井川の地名			赤井川村	A5	1221 357～366
白老町企画課元気まち推進係(編) 中村齋	げんき アイヌ千一夜物語18 若きアイヌの詩人 森竹竹市		522	白老町企画課元気まち推進係	A4	17 5
国立民族学博物館(編) 大塚和義	月刊みんばく 木彫のランプ「ヤオシケッ」 表紙写真(貝澤徹作)の説明文。 アリゾナからアイヌへ 〔民族博物誌〕114 シマフクロウ	28	2	317 千里文化財団	B5	24 表紙裏 1 20～21
東村岳史 藤井美樹 多原順也	先住民族の10年 News 第4回先住民関係 NGO! NP0 全国交流会 「大地と共鳴する人々」二風谷へ 市民連絡会2003年活動評価および2004年活動計画 おぼろのひとりごと (10)		101	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2～3 13～15 18 20
久保寺逸彦(編訳)	アイヌの神謡 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。アイヌ文化良書刊行会1月20日発行の増刷。			草風館	A5	484
榎原正文	データベースアイヌ語地名4 日高I 静内町 緒言/例言/A 静内町海岸線/B 静内町内の中小河川/C 静内川水系/D 静内町内の山岳名等/E 静内町内・アイヌ語地名地図/F SUMMARY/G 各地点の現況(筆者撮影写真)/H 川と谷を表すアイヌ語地名について/欧字索引/現地名索引/参考文献 献財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。			北海道出版企画センター	A5	308
殿平善彦	若者たちの東アジア宣言 : 朱鞠内に集う日・韓・在日・アイヌ 序 「笹の墓標」 展示館で/第1部 国境を越えて出会う若者たち : 東アジア共同ワークショップの歩み/第2部 朱鞠内から山形へ : ある在日韓国人の思い			かもがわ出版	A5	127
戸部千春	大地と物への刻紋に惹かれて 1983-2003			研究会いたやかえで	B5	
高野啓子	エムシアッの文様の調査研究 : アイヌ女性の手仕事 1 はじめに/1 エムシアッについて/2 エムシアッの文様/3 エムシアッ(垂飾部)の文様/4 エムシアッの素材と編み方で作ってみました/5 エムシアッに関するアイヌ語/おわりに/参考文献 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成報告書。			高野啓子	A4	32

2004年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信 アイヌ語地名辞典作成のためのメモ	54	2	オホーツク文化資料館	B5	4 233～236
米村衛	北辺の海の民・モヨロ貝塚 シリーズ「遺跡を学ぶ」001			新泉社	A5	92
木呂子敏彦(著)、木呂子敏彦著作集刊行会(編)	木呂子敏彦著作集 鳥の眼・みみずの目			木呂子敏彦著作集刊行会	A4	880
木呂子敏彦	北斗を憶う 初出は『遼星北斗遺稿集』(1957年)。					36～39
木呂子敏彦	光を掲げた人〔遼星北斗について〕 NHK ラジオ放送台本(1955年)。					40～41
木呂子敏彦	昭和初期の帯広 初出は『想い出の像・友ちゃん』記念誌(1966年)。					135～139
木呂子敏彦	青少年の師父〔下村湖人について〕 初出は『下村湖人全集』序文(1975年)。遼星北斗歌碑建設に関する記述あり。					171～174
木呂子敏彦	十勝から北海道を考える 初出は『地域研究年報』1号(旭川大学地域研究所、1978年)。 穂別村横山正明村長に関する回想中に関係記述あり。					220～232
木呂子敏彦	柳田国男・北海道の旅を追って(上)(中)(下) 初出は『地域研究年報』7、10、11号(旭川大学地域研究所、1985～88年)。					442～501
木呂子敏彦	流転人生 : 私のなかの歴史 初出は『北海道新聞』連載「私のなかの歴史」、1992年。					643～665
木呂子敏彦	永六輔の返事と江政敏					778～779
久保寺逸彦(著)、佐々木利和(編)	アイヌ民族の文学と生活 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版は草風館より『久保寺逸彦2』として4月12日発行。			アイヌ文化良書刊行会	A5	311
佐々木利和 久保寺逸彦	編集にあたり アイヌの音楽と歌謡 初出は『民族学研究』5巻5・6号、1940年。					310～311 11～40
久保寺逸彦	アイヌ文学序説 初出は『東京学芸大学研究報告』7集(別冊)、1956年。					41～147
久保寺逸彦	アイヌの一生 結婚/妊娠と出産/子守歌/命名/教育/成年・成女/挨拶・儀礼・作法 初出は『アイヌ民族誌 下』、1969年。初出掲載のうち一部未収録部分あり。					149～200
久保寺逸彦	アイヌ文化掌文集 虎杖の道を迎る/アイヌ民族の正月の今昔/イヌーの話/アイヌの民謡詩人 : 鹿田シムニカのことども/原住民としてのアイヌ/アイヌの川漁/一昔前のアイヌの子ども/沙流川のアイヌ/アイヌの遊戯とスポーツに就いて/アイヌ民族の植物の利用/エテノア婆さんの想い出/アイヌの子守歌 初出は『ドルメン』2巻8号(1933年)ほか。					201～287
北海道立アイヌ民族文化研究センター(提供)	久保寺逸彦著作目録 『久保寺逸彦文庫図書資料目録』(北海道立アイヌ民族文化研究センター、1999年)所収の著作目録をもとにしたもの。					288～293
金田一京助、久保寺逸彦(談)、益田勝美(司会)	【対談】アイヌ文学の伝承 初出は『国語通信』114号、1969年。					309～294 (縦組)
佐々木利和	アイヌ絵誌の研究 序にかえて : あるアイヌ絵の解釈/序論 アイヌ絵という概念/第1編 蝦夷のイメージ/第2編 描かれたアイヌの世界/図版編/結語/参考文献/あとがき			草風館	B5	365
佐藤知己	北海道大学文学研究科紀要 アイヌ文学における一人称体の問題	112		北海道大学大学院文学研究科		171～185
淀野順子	社会教育研究 アイヌ文化に着目した自然環境再生活動の展開過程 : チコロナイの事例を通じて	22		北海道大学大学院教育学研究科社会教育研究室	B5	61～82
	シサム通信	143		シサム通信編集委員会	B5	15
静内町総務部企画課広報聴係(編)	広報しずない	675		静内町	A4	23
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ビンニ(ヤチダモ)					後表紙
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市オルイカ1遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第206集			北海道埋蔵文化財センター	A4	69

2004年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
〔札幌アイヌ文化協会〕	アシリチェップノミの記録 札幌市で1982年から毎年9月に開催されている「アシリチェップノミ」について、これまでのポスター、リーフレット、プログラム等をまとめたもの。 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版			札幌アイヌ文化協会	B5	209
アイヌ語釧路方言語彙編集委員会(編)	アイヌ語釧路方言語彙集 : 附・「アイヌ・モシリ」山本多助作品集 発刊の辞/監修の辞/凡例/アイヌ語→日本語/日本語→アイヌ語/人称接辞/よく使われる疑問副詞・格助詞など/数詞/附・アイヌモシリ 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。3月15日再版(市販版)。			釧路アイヌ語の会	A5	429
切替英雄 〔山本多助〕	監修の辞 「アイヌモシリ」山本多助作品集 雑誌『アイヌ・モシリ』掲載の山本多助執筆になる作品・書簡及び山本多助あて書簡に日本語訳を付けて再録したもの。出典は釧路アイヌ文化懇話会による翻刻版(1998年)。冒頭に浦田遊による解説を付す。					10~19 313~429
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告 2002年度に助成を受けた研究成果を収録。	3		アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	742
計良光範	外来宗教とアイヌ社会稿3 原版は2003年2月28日発行。					1~74
十勝開拓とアイヌ歴史研究会	十勝地方の食文化研究 原版は2003年2月28日発行か。					75~126
津田命子	アイヌの組紐 : アイヌの民具に見られる組紐の組成と種類について 原版は2003年3月31日発行。					127~160
アイヌ文化を学び継承する助成の会	アイヌの衣服文化を探る : オモンペとその縫製技術の研究 原版は2003年3月31日発行。					161~183
貝澤文俊	(鍋沢ノート) 大正のクツネシリカ 翻訳&研究報告書 「北海学園大学藤村久和教授による「鍋沢ノート」監修・解説文」を付す。					185~553
平石清隆	沙流地方のウエベケレ : 上田としの伝承 原版は2003年2月発行。					555~742
アイヌ民族博物館(編)	アイヌと植物(薬用編) アイヌと自然シリーズ第4集 アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。				21×20	31
伊藤務(編著)	民具図録 続 アイヌの工芸世界 彫工シタエホリ			マキリミュージアム	B5	105
戸部千春	序・伊藤務氏の民具研究を讀める					3
井筒勝信(編)	アイヌ語旭川方言資料集1 まえがき/第1部 アイヌ語旭川方言コーパス・テキスト訳/第2部 アイヌ語旭川方言資料2003/第3部 アイヌ語旭川方言辞典草案:愛和編 第2版/参考文献/あとがき 第3部は『アイヌ語旭川方言辞書草案』(井筒勝信編、2003年)をもとに全面改訂を行ったもの。			北海道教育大学教育学部旭川校 アイヌ語旭川方言資料2003/第3部 アイヌ語旭川方言	A5	486
青柳真智子(編)	国勢調査の文化人類学 : 人種・民族分類の比較研究			古今書院	A5	422
青柳真智子	日本 : 民籍の復活は可能か 所収書第7章。					101~118
佐々木史郎	ロシア : アムール・サハリン地方の民族分類の変遷と民族意識の形成 所収書第8章。					119~142
先住民族の権利宣言研究グループ(編)	一目でわかる 先住民族の権利宣言 : 国連案の内容と争点 はじめに/先住民族の権利に関する国際連合宣言(案)/用語解説 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版			ウハノッカの会	A5	104
竹内渉	野村義一研究報告書 はじめに/思い出の写真/Ⅰ私論野村義一(竹内渉)/Ⅱ『対談』(野村義一、藤本英夫ほか)/Ⅲ野村義一伝(藤本英夫、野村義一『アイヌ民族を生きる』草風館、1996年掲載のものを一部加筆、初出は『北海道開発功労賞 受賞に輝く人々』1994年) 2)『アイヌ民族として 野村義一さん』(『苫小牧民報』1998年9月14日付~10月5日付連載) 3)『ゆうゆうインタビュー 105』(『ゆうゆう』1996年9月号)/Ⅳ 論文・対談/V資料/おわりに 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成報告書。のち加筆集成、再編集し『野村義一と北海道ウタリ協会』(草風館、2004年10月)として刊行。			竹内渉(編著)	A4	159
野村義一、藤本英夫、加藤忠、野村美子、竹内渉	対談					18~50
白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室	金成マツ筆録ノート文字解読字典 はじめに/1 金成マツ筆録ノート/2 金成マツ筆録ノート文字解読字典(五十音順)/3 金成マツ筆録ノート解説・整理の試み/4 巻末付録(索引) 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版			白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室	B5	18

2004年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
富樫利一	伏流 金成太郎伝 一 冬の虹／二 赤い星／三 湯の滝／四 支配地罷免／五 札幌本道／六 改名される／七 室蘭常盤学校入学／八 向学／九 請願／十 アフンバル(入る・口)／十一 天ニゾノボラン／十二 アイヌ教育会社／十三 風波／十四 愛隣学校／十五 悪魔(ウエンカムイ)／十六 別離／十七 残された者たち／十八 流星／十九 不帰の旅路／参考文献 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版				彩流社	B6	398
佐々木馨	北海道仏教史の研究 「中世のアイヌ社会」(第1部第3章第2節)「コシマインの蜂起」(同第4節)「幕府の蝦夷地直轄と蝦夷三官寺」(第2部第3章)「近代天皇制とアイヌ民族」(第3部第4章第5節) など関係項目あり。				北海道大学図書刊行会	A5	665
太田幸夫	北海道の駅 878ものがたり				富士コンテム	B5	259
尾本恵市	桃山学院大学総合研究所紀要 先住民族と人権(1) アイヌと先住アメリカ人	29	3		桃山学院大学総合研究所		101～120
間淵一	歴史研究 【史談往来/北から南から】小字のアイヌ語地名から	46	2				7～10
神崎雅好	シネ イソンクル イソイタッ : アイヌ狩人の技 浦河の細川重二(1925～2001)からの聞き取りをまとめたもの。目次:はしがき・細川氏略歴/Ⅰ 狩猟/Ⅱ 漁労/Ⅲ 採集/Ⅳ 送りの儀式 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成成果報告書。				神崎雅好	A4	46
平取町役場企画課広報広聴係(編)	広報びらとり			532	平取町役場	A4	16
	二風谷アイヌ文化博物館だより						14
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピ ソシ 9 地名				北海道立アイヌ民族文化研究センター	A5	32
	アイヌ民族を理解するために 1990年初版発行の改訂版。				北海道環境生活部総務課アイヌ施策推進グループ	A5	36

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年3月】						
長澤政之	アジア文化史研究 場所請負制崩壊期、子モロ場所の漁業生産と和人労働者の動向	4		東北学院大学大学院文学研究科	B5	1～27
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化4 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：『国づくりの神々』の話(2)		303	グラフ旭川	B4	62 51
	ほっかいどう [14支庁から 地域が元気です！] 生誕百年を迎えた『アイヌ神謡集』の著者知里幸恵の記念館建設へ〔胆振支庁〕		151	北海道広報広聴課	A4	21 16
	月刊いぶり コタンの風景2 アイヌ文化の今 白老アイヌ民族博物館チセ(家)改築工事 ユーカラを口ずさんで…1 大きな龍の耳と耳の間にいた		2	いぶり政経研究所	B5	106 50～51 51
駒木佐助	北の青嵐 安政2年以降の蝦夷地整備史料について : 室蘭南部出張陣屋史料に関連して		134	北の青嵐	B5	12 1～6
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 7 春のさががけ・福寿草……そして「知来別」追想	34	3	399 水交社	B5変型	146 113～115
アイヌ問題取材班 アイヌ問題取材班	北方ジャーナル ウタリ協会の病根をえぐる 5 視点 曲がり角に立つウタリ協会 : アイヌ施策が産んだ功罪	33	3	413 北方ジャーナル	A4	114 12～17 18～19
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その10		56	別海町郷土資料館	A4	2 2
白老町企画課元気まち推進係(編) 中村齋	げんき アイヌ千一夜物語19 アムール河でアイヌの子孫に		523	白老町企画課元気まち推進係	A4	19 8
北海道開拓記念館 山田悟郎	北海道開拓記念館だより [学芸員の研究ノートから] 4 オホーツク文化のオオムギ	33	4	182 北海道開拓記念館	A4	8 7
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園(編) 加藤克	北大植物園研究紀要 札幌農学校所属博物館のアイヌ民族資料		4	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園	A4	75 1～54
国立民族学博物館(編) 中川裕(回答)	月刊みんばく [読者のページ Q&A] [特別展「アイヌからのメッセージ」関連記事に見られるカタカナの小文字について]	28	3	318 千里文化財団	B5	24 22
中尾健次、黒川みどり	人物でつづる被差別民の歴史 発行：解放出版社 アイヌを誇り叙事詩(ユーカラ)を記録 知里幸恵 [コラム] 北海道旧土人保護法 [コラム] シャクシャイン			部落解放・人権研究所	A5	165 93～98 95 98
小林利延 小林利延	評伝 川上澄生 : かぜと なりたや 北海道に生きる 他にも関係記述箇所あり。			下野新聞社	A5	584 325～350
平佐修	ノースアングラーズ 北海道面白川散歩 第29歩 人 その1	7	3	29 つり人社	A4	130 99
菊池俊彦	環オホーツク海古代文化の研究 北海道大学大学院文学研究科叢書 序文/凡例/第Ⅰ部 環オホーツク海の古代文化/第Ⅱ部 環オホーツク海の交易/第Ⅲ部 環オホーツク海古代文化研究の展開/引用文献一覧/収録図版出典一覧/初出一覧/あとがき/索引			北海道大学図書刊行会	A5	284
秋辺得平(インタビュー、聞き手:越田清和) 計良光範	インパクション 失った100年を問う : アイヌ民族共有財産裁判の意義 アイヌ民族にとっての先住民の10年とは何だったのか 特集：先住民は何を獲得し何を失ったか サバティスタ蜂起から10年、国際先住民の10年		140	インパクト出版会	A5	183 30～37 38～41
	ビリカ・モシリ		26	『北方領土の日』反対「アイヌ新法」実現!全国実行委員会	B5	23

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
知里幸恵 (著訳)、北道邦彦 (編註)	知里幸恵のウウェベケレ (昔話)			北海道出版企画センター	A5	129
東京文化財研究所	うごくモノ : 「美術品」の価値形成とは何か			平凡社	A5	410
佐々木利和	とこしえに地上から消えた千島アイヌとその文化 : 日本人が自ら葬り去った異文化 第3セッション「モノと人の力学」の一部。391～410ページ「討議三」にも関係部分あり。					353～360
石黒文紀 成田英敏 松岡靖 伊藤文美 小林純子	先住民族の10年 News アイヌ民族に関する学校教育の問題点と課題 漫画エッセー センター試験にもアイヌ語を！ シンポジウム報告「国際先住民の現在 軌跡と展望」 エスニックコンサート2003 「人類館・100年の時空を生きる 学術人類館」 [今月の本]『アイヌが生きる河』北川大著 『インバクション』139号(2004年1月)掲載の記事を割愛、訂正して転載。	102		先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2～4 5 14～15 16 17
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信 アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 3	55		オホーツク文化資料館	B5	4 237～240
北海道の文化編集委員会 (編)	北海道の文化	76		北海道文化財保護協会	A5	112
福岡伊ト子 大島秀俊 富水慶一 横田直成	二十一世紀型に合わせた思考と感性 北海道の古代出土文字資料について 近世蝦夷地の考古学史概説(下) : 松浦武四郎の蝦夷地紀行と考古観 アイヌの祈禱祭祀具『鍬形』その二 北海道ゆかりの三枚 小樽市と東北歴史博物館で確認					16～17 28～37 38～48 95～111
三好勲、横平弘	アイヌ語地名の魅力(Ⅰ) タッコフ地名研究 : 達古武、多峯古峯山、達布山			アイヌ語地名魅力を探索会	A4	71
釧路公立大学 (編)	釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究	16		釧路公立大学	B5	129
ミハイル・ヴィソコフ、松井憲明 (訳)	サハリンと千島列島 : 編年史、1961～65年					101～126
北海道立図書館北方資料室 (編)	北の資料 第113号 プランゲ文庫雑誌目録 北海道関係分地域別リスト 北海道アイヌ協会『北の光』あり。			北海道立図書館	A4	88
島袋陽子 竹内渉	けーし風 調教師にならない沖縄人 特集「いま、差別の諸相を考える」(「人類館事件」関連特集) アイヌ文化コース開設と若き伝承者 苫小牧駒澤大学短期大学の紹介	42		新沖縄フォーラム刊行会議	A5	86 26～27 60～61
	しゃりばり 写2004北海道 Vol. 73 札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」	266		北海道総合開発調査会	B5	68 1～4
原田信男 (編著) 原田信男	日本の食文化 北海道の食文化 「アイヌ民族の食生活」「アイヌ民族の食文化」などあり。			放送大学教育振興会	A5	182 86～96
千石涼太郎	やっぱり北海道だべさ!! スペシャル版 地名の由来と楽しい地名			双葉社	文庫	230 90～93
卜部信臣 (責任編集)	空知を知る : 空知地方史文献目録とその手引き アイヌ文献資料			空知地方史研究協議会	A4	182 129～130
河野敏昭	アイヌ文献資料					
反差別国際運動日本委員会 (編)	マイノリティの権利とは : 日本における多文化共生社会の実現にむけて IMADR-JC ブックレット9			反差別国際運動日本委員会 (発売: 解放出版社)	A5	136
長谷川由希 上村英明 上村英明、岡本雅亨ほか	文化を実践できるアイヌとできないアイヌの格差が広がっています 先住民族の権利保障運動とマイノリティの視点 座談会 マイノリティが変える社会					12～15 34～35 73～100

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
	アイヌタイムズ		29		アイヌ語ベンクラブ	A4	
	アイヌタイムズ 日本語版		28		アイヌ語ベンクラブ	A4	
北方文化振興協会 (編)	Arctic Circle (アークティック サークル)		50		北方文化振興協会	B5	19
田島佳也 岡本敏行	近世期における蝦夷地の漁業 コレクションの系譜8 清野謙次コレクションについて : 大阪府立近 つ飛鳥博物館所蔵の北方民族資料						4~9 12~13
石沢小枝子	ちりめん本のすべて : 明治の欧文 挿絵本				三弥井書店	A5	344
石沢小枝子	B. H. チェンバレンの Aino Fairy Tales 第2章「Japanese Fairy Tale Series」六						85~99
静内町総務部企画課広報広 聴係 (編)	広報しずない			676	静内町	A4	15
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 エシケリムリム (カタクリ)						後表紙
北海道立アイヌ民族文化研 究センター (編)	アイヌ民族文化研究センターだより		20		北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	6
古原敏弘 小川正人 大谷洋一	「久保寺逸彦文庫」の写真資料 [こんなときは] 人物の足跡や関係する資料について知りたい カムイの声を聴くということ						1~2 2~3 4~5
北海道立アイヌ民族文化研 究センター (編)	北海道立アイヌ民族文化研究センター 研究紀要		10		北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	187
佐藤知己 本田優子 谷本一之 大谷洋一 甲地利恵 荻原真子 平野芳英、山崎幸治、 北原次郎太	知里幸恵『アイヌ神謡集』の難読箇所と特異な言語事例をめぐって アイヌ口承文芸にあらわれる衣服について 1960年代、古老の音の記憶 : フィールド・ノートの落穂ひろい (Ⅱ) 松島トミさんの口承文芸 6 旭川地方におけるタッカラについて : 杉村満さんの伝承より 〔資料紹介〕 V. N. ヴァシーリエフ「エゾおよびサハリン島アイヌ紀行」 〔資料紹介〕 島根県美保関町の北方民族関係資料						1~32 33~67 69~75 77~123 125~151 153~177 179~187
北海道立文書館	北海道立文書館研究紀要		19		北海道立文書館	A5	82
タチアナ・ニコラエフ ・ブルッサコーワ	サハリン州近代史資料センターの紹介						66~73
榎森進 (編)	アイヌの歴史と文化 Ⅱ 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版もあり (創童舎発行)。				「アイヌの歴史と文化」刊行促進協議会	B5	233
中村和之	北からの蒙古襲来 初出は『白い国の詩』2000年4月号。						4~13
村崎恭子	樺太アイヌの人々 初出は『白い国の詩』2000年1月号						14~23
川上淳	蝦夷地のアイヌ乙名 初出は『白い国の詩』2000年2月号						24~33
井上研一郎	夷酋列像 : 痛恨の肖像 初出は『白い国の詩』2000年3月号						34~43
榎森進	江戸時代の北方史 : 「鎖国」の中の北方地域 初出は『白い国の詩』2000年5月号						44~53
遠藤匡俊	近世アイヌの集落と家族構成 初出は『白い国の詩』2000年6月号						54~63
新明英仁	アイヌの風俗を描いた絵師たち 初出は『白い国の詩』2000年7月号						64~73
榎森進	開拓とアイヌ民族 初出は『白い国の詩』2000年8月号						74~83
秋野茂樹	アイヌの送り儀礼 初出は『白い国の詩』2000年9月号						84~93
安田千夏	アイヌの一生 初出は『白い国の詩』2000年10月号						94~103
児玉マリ	アイヌの衣服 初出は『白い国の詩』2000年12月号						104~113

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
内田祐一	アイヌの伝統家屋チセ 初出は『白い国の詩』2001年1月号					114～123
出利葉浩司	博物館が語るアイヌの生活用具 初出は『白い国の詩』2001年2月号					124～133
内田祐一	アイヌの狩猟 初出は『白い国の詩』2001年3月号					134～143
福岡イト子	アイヌと植物 初出は『白い国の詩』2001年4月号					144～151
秋野茂樹	アイヌの食事 初出は『白い国の詩』2001年5月号					152～159
中川裕	アイヌの口承文芸 初出は『白い国の詩』2001年6月号					160～167
谷本一之	アイヌの芸能 : 和風化のプロセス 初出は『白い国の詩』2001年7月号					168～175
青柳信克	外国人のみたアイヌ 初出は『白い国の詩』2001年8月号					176～183
児島恭子	金田一京助とアイヌ語 初出は『白い国の詩』2001年9月号					184～191
荻原真子	ロシアのアイヌ資料 : サンクトペテルブルグ編 初出は『白い国の詩』2001年10月号					192～199
萩中美枝	知里真志保とその家族 初出は『白い国の詩』2001年11月号					200～207
尾本恵市	日本人とアイヌ民族の起源 初出は『白い国の詩』2001年12月号					208～215
萱野茂、赤坂憲雄(対談)	アイヌ文化と東北の文化 初出は『白い国の詩』2001年1月号					216～223
榎森進	現在のアイヌ民族がかかえる諸問題 : 『アイヌの歴史と文化Ⅱ』の刊行にあたって					224～228
帯広百年記念館(編)	アイヌ語で自然かんさつ図鑑 アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版			帯広百年記念館友の会	A5	64
砂川市郷土研究会(編)	郷土研究		37	砂川市教育委員会	B5	40
佐藤金蔵	「武四郎——連のこと」終る					22～25
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	帯広叢書第51巻 吉田巖資料集 17 1 アイヌ調査書4-2/2 日記3-16(昭和11年10月～12月)/3 調べ書き4-1(昭和9年北海道方面委員会・旅中メモほか)/4 著作原稿8(「心の小道」を繞りて)/5 著作原稿9～12(講演草稿・宣誓詞ほか)/6 出現語彙一覧/7 注釈用参考文献一覧			帯広市教育委員会	B5	302
朝比奈美知子(編訳)	フランスから見た幕末維新 : 「イリュストラシオン」日本関係記事から 続々カムチャッカ紀行 : アイヌの習俗〔抜粋〕 初出は1862年8月30日号掲載記事。この他にも同書中に関係記述あり。			東信堂	A5	447 80～81
北海道立北方民族博物館(編)	北海道立北方民族博物館研究紀要		13	北海道立北方民族博物館	B5	146
笹倉いる美	のるりすと2003 : 北方研究データベース					139～146
とどまつ		25	48	北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会	B5	32
堺比呂志 関秀志	木村謙次の国後・択捉島(4) 北海道民具史研究と『松前方言考』(下)					12～17 18～22
	久米島自然文化センターだより アイヌ伝統工芸展／アイヌ民族芸能交流会		7	久米島自然文センター(沖縄県)	A4	4 2
本田孜	仙台藩白老元陣屋資料館報 「自然からの恵み しらおい・食の文化を考える」から 『苦小牧民報』2003年3月29～4月1日連載記事に加筆・修正した本文のほか、試食メニュー、資料目録など掲載。	10		仙台藩白老元陣屋資料館	A4	42 36～42
	東北文化シンポジウム報告 : 北の狩猟文化 東北文化の広場8(ブックレット)			東北芸術工科大学東北文化研究センター	A5	78
中路正恒 工藤雅樹	「マタギ」の狩猟 東北のマタギ言葉とアイヌ語地名について					30～38 50～62

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号 通巻	発行者	判型	ページ
工藤雅樹、菊池勇夫、 中路正恒 (ディスカッ ション、司会：赤坂憲 雄、六車由美)	東北の狩猟文化をめぐって				63～78
成田修一	二松学舎大学東洋学研究所集刊 嘉永七年のアイヌ語 : 特に『蝦夷紀行』について	34		B5	249～265
佐伯有清	北海道大学総合博物館研究報告 北大サクシュコトニ川遺跡出土の「夷」字土器研究とその後 : 発掘か ら20年の後に	1	北海道大学総合博物館	A4	99 81～99
STV ラジオ(編)	はっかいどう百年物語 第4集 弁開風次郎 : アイヌ民族と和人の架け橋になったコタン部落の村長 ジョン・パチェラー : 「アイヌの父」と呼ばれたイギリス人宣教師		中西出版	B6	214～224 259～269
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機 構収蔵資料目録 4 森資料		アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	87
アイヌ民族博物館(編)	アイヌと植物(樹木編) アイヌと 自然シリーズ第3集(第2版増補版) 1993年発行初版の増補版。		アイヌ民族博物館	20×21	31
アイヌ民族博物館(編)	アイヌ民族博物館研究報告	8	アイヌ民族博物館	B5	120
姉帯正樹	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第7報) 白老の食用野生 植物考 2				1～22
姉帯正樹、村木美幸、 本田優子、安田千夏	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第8報) ウベウおよびイ ワニンジン				23～33
姉帯正樹、本田優子、 村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第9報) キナライタの“白 いいも”				35～41
姉帯正樹、菱川敦之、 細川敬三、本田優子、 村木美幸、小川広	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第10報) プイの食材とし ての可能性について				43～47
姉帯正樹、本田優子、 村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第11報) トウレツからの デンブン採取と加工処理				49～55
姉帯正樹、高谷芳明、 安田成衣子、土居雅津 代、村木美幸、本田優子	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第12報) シケレベキナの 形態学的、化学的および薬理学的研究				57～66
姉帯正樹、南収、本田 優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第13報) ツルニンジンお よびバアソプの試作栽培と栄養成分分析				67～73
小川正人	『室蘭毎日新聞』掲載アイヌ関係記事: 目録と紹介(1)				75～120
旭川市博物館(編)	旭川市博物館研究報告	10	旭川市博物館	A4	56
魚井一由、廣田徹	アイヌ語数詞体系に関する考察 : ドブロットヴォールスキーのアイヌ 語辞典を基盤にして				1～20
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録ⅩⅣ : 民 族資料/生業関係		旭川市博物館	A4	54
黄檗文化研究所	黄檗文華	123	黄檗山萬福寺文華殿(京都府)	A4	386
北美智子	野山の植物を食材に : キハダの実(シケレベ)について				382～372
堀田清、江口正尊	アイヌ民族文化における黄柏について : シケレベニの使い方				386～383
根室市博物館開設準備室 (編)	根室市博物館開設準備室紀要	18	根室市博物館開設準備室	B5	84
大沼忠春、川上淳、佐 々木寿雄、本田克代	長尾又六氏の業績(3) アイヌ語及びアイヌに関する業績の紹介あり。				1～24
北方地域研究会	南千島等地名調査報告				25～44
城田貴子、本田克代、 川上淳	根室・千島地方の主な歴史文献解題				45～64
川上淳	千島通史(4) 18世紀前半の千島				65～80
佐倉市総務部行政管理課市 史編さん担当(編)	佐倉市史研究	17	佐倉市	A5	
浜口裕介	須藤秀之助『唐太紀行』 : 佐倉藩士のカラフト調査記録を読む				18～30

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
小谷凱宣	海外のアイヌ文化財 : 現状と歴史 (第17回「大学と科学」公開シンポジウム発表収録集)				南山大学人類学研究所	B5	189
	はじめに(小谷凱宣)/第1章 基調報告/第2章 ロシアのアイヌ文化財調査/第3章 欧米のアイヌ文化財 : 文化要素の比較と地理的特徴/第4章 今後のアイヌ研究の課題/執筆者一覧/あとがき						
小谷凱宣	海外アイヌ文化財調査 : 目的と経過、収集の歴史、調査研究の成果						6~22
	シンポジウム基調報告						
荻原眞子	ロシアのアイヌ文化財調査について						24~33
長谷部一弘	生業関係資料						34~41
児玉マリ	衣服関係資料						42~52
藪中剛司	食関係資料						53~60
福土廣志	住関係資料						61~66
鈴木邦輝	移動・運搬関係資料						67~72
内田祐一	儀礼 : 祭祀具・霊送り儀礼に関する資料について						73~81
大谷洋一	儀礼 : 巫術やまじないに関する道具について						82~87
ウラジミール・モイセーエヴィッチ・グルスマン (吉田睦訳)	ロシア民族学博物館における『島の人々アイヌ』展						88~91
J. クライナー	以上、第2章「ロシアのアイヌ文化財調査」						
小谷凱宣	ヨーロッパ思想史とアイヌ観、アイヌ研究、アイヌ・コレクションの形成						94~106
出利葉浩司	北米のアイヌ文化財調査						107~117
池田透	欧米のアイヌ・コレクションの構成要素の比較						118~130
佐々木利和、古原敏弘	海外資料から見たアイヌ民族の動物利用						131~138
	海外のアイヌ絵						139~142
	以上、第3章「欧米のアイヌ文化財 : 文化要素の比較と地理的特徴」						
中川裕	アイヌ語研究の課題 - 過去の遺産の活性化 : アイヌ語音声アーカイブの必要性						144~148
古原敏弘	物質文化研究の可能性						149~153
青柳信克	国内アイヌ文化財の比較調査						154~161
谷本晃久	アイヌ史の可能性						162~170
佐々木史郎	より広い視野から見たアイヌ文化研究						171~185
笹村二朗	アイヌ文化の将来						186~189
小谷凱宣(編)	海外アイヌ資料にもとづくアイヌ文化の地域差・時代差に関する研究				南山大学人類学研究所	B5	261
	文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書						
小谷凱宣	研究計画「海外アイヌ資料にもとづくアイヌ文化の地域差・時代差の比較研究」について						1~4
小谷凱宣(編)	海外アイヌ資料関係既発表業績一覧						5~11
小谷凱宣	明治時代のアイヌ・コレクション収集史再考 : 国外アイヌ・コレクションの調査結果から						13~27
	『国立歴史民俗博物館研究報告』107集(2003年)からの転載。						
平野芳英、山崎幸治、北原次郎太	島根県美保関町の北方民族関係資料						29~37
	『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』10号(2004年3月)からの転載。						
谷本晃久、木田歩、山崎幸治	「蝦夷志料」引用書目誌考						39~71
	『史流』41号(2004年3月)からの転載。						
木田歩、山崎幸治、谷本晃久、小谷凱宣	「蝦夷志料」総目録						73~261
小谷凱宣、荻原眞子(編)	海外アイヌ・コレクション総目録				南山大学人類学研究所	B5	422
	はじめに(付表 海外主要アイヌ資料の分布)/第1章 海外のアイヌ資料所蔵博物館等/第2章 海外のアイヌ資料一覧/第3章 アイヌ資料に関する背景情報						
小樽市博物館 (編)	小樽市博物館紀要 第17号				小樽市博物館	A4	90
石川直章	動物意匠をもつ土器 : 北海道岩内郡共和町・岩内町出土土器実測図の報告						47~53
松浦武四郎研究会 (編)	松浦竹四郎研究会会誌			42	松浦武四郎研究会事務局	B5	16
秋葉實	随想 伝記と小説 : 考証の難しさ						14~16

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
神奈川大学21世紀 COE プログラム (編) 菊池勇夫	年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 荷を負うアイヌの姿 : 菅江真澄の絵から			神奈川大学21世紀 COE プログラム	A4	228 13~19
杉浦茂	場所請負人 福嶋屋 杉浦嘉七 四代物語			杉浦茂	B5	158
青森県立郷土館	開館30周年記念特別展 蝦夷錦と北方交易 改訂版 あいつつ/謝辞/凡例/論考〔内訳下記〕/図版Ⅰ 山丹交易 : 蝦夷錦の来た道/図版Ⅱ 北方の諸民族 : 蝦夷錦を伝えた人々/図版Ⅲ 北海道に残る蝦夷錦/図版Ⅳ アイヌ絵の中の蝦夷錦/図版Ⅴ 青森県に残る蝦夷錦/出品資料一覧/あとがき 2003年9月26日発行の改訂版。細谷良夫の論考を新たに加えるとともに、他の論考についても補充があるほか、誤植の正誤などを行った(改訂版「あとがき」による)。			青森県立郷土館	A4	71
中村和之 五十嵐聡美 細谷良夫 瀧本壽史	蝦夷錦・青玉と北方交易 アイヌ絵の中の蝦夷錦 蝦夷錦研究をめぐる提言 津軽海峡を渡った蝦夷錦					6~10 11~14 15~17 18~22
帯広百年記念館(編) 廣瀬龍太	帯広百年記念館紀要 晩成社の渡辺カネとアイヌの人びと : 昭和9年の小学校講演を中心に	22		帯広百年記念館	A4	44 1~13
東北芸術工科大学東北文化研究センター(編) 毛利夏子	東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要 新聞メディアのイオマンテ像 : イオマンテの興行をめぐる	3		東北芸術工科大学東北文化研究センター	B5	316 275~299
苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所 岡田路明	環太平洋・アイヌ文化研究 苫小牧の地名とアイヌ語(Ⅲ)	4		苫小牧駒澤大学	B5	103 1~17
平川新(監修)	ロシア史料にみる18~19世紀の日露関係 第1集 東北アジア研究センター叢書第15号			東北大学東北アジア研究センター	B5	205
北海道ウタリ協会 秋辺日出男	先駆者の集い 昔の青年の主張 別添資料。平成15年度青年・女性の集い講義録。	98		北海道ウタリ協会	B5	8 1~12
北海道教育大学史学会 谷本晃久、木田歩、山崎幸治 馬場正裕	史流 「蝦夷志料」引用書目誌考 蝦夷三官寺の研究	41		北海道教育大学史学会	B5	1~35 41~60
北海道考古学会(編) 小野哲也	北海道考古学 『北海道考古学』第40輯記念特集号 特集:北海道考古学の現状と課題 その他「北海道考古学会の40年をふりかえって」(加藤邦雄) など アイヌ文化期 特集:北海道考古学の現状と課題	40輯		北海道考古学会	B5	198 119~136
北海道大学文学部古河講堂「旧標本庫」人骨問題調査委員会	古河講堂「旧標本庫」人骨問題 報告書Ⅱ はじめに/第Ⅰ部 サハリンへのウイльта民族の遺骨の返還(第1章 これまでの経緯(1995年7月~2001年11月)/第2章 サハリンへの遺骨の返還に向けて(2001年12月~2003年3月)/第3章 サハリンへの遺骨の返還(2003年4月~2003年8月))/第Ⅱ部 『報告書Ⅰ』第Ⅴ章の再検討(はじめに/第1章 指摘された問題点/第2章 批判に対する委員会の見解/第3章 その他の問題点/関係文献)/第Ⅲ部 吉崎氏の証言の詳細(第1章 事情聴取の経過/第2章 吉崎証言の矛盾と残された課題)/資料編 『樺太日日新聞』掲載のサハリン先住民族に関する記事データベース/おわりに:残された課題 『樺太日日新聞』掲載のサハリン先住民族に関する記事データベース 記事目録(431件)及びそこから選ばれた記事120件のコピーを掲載。			北海道大学大学院文学研究科・文学部	A4	390
北村百年史編さん委員会(編) 太田幸雄 太田幸雄	北村百年史 北村のアイヌ語地名 アイヌ撫育で対立			北村	A5	1512 27~42 57~59
名寄市北国博物館(編) 名寄市北国博物館(編) 名寄市北国博物館(編)	北国研究集録 地域文献目録 名寄市北国博物館所蔵地域関係文献の目録。 〈史料紹介〉天塩紀行 資料の初出は『北海道毎日新聞』1888年8月24~9月13日付(5回連載)。本文のほか「解説」を付す。	8		名寄市北国博物館	A4	54 21~30 40~31 (縦組み)

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
	サンクンガーデン 特別企画展 写真家掛川源一郎の20世紀 企画展 アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から	16		北海道立文学館	A4	8 2 3
	共生の社会に向けて : 一人一人が人権尊重の理念について理解を深めよう			北海道農政部農林振興課	A4	
永田良茂	語源研究 特集: オーラル・ヒストリーと女性史 縄文地名の証明方法と場所特定の地名用語例(「…の所」を示すアイヌ語と地名、日本語語源の関係) 第43回研究発表資料	42		日本語語源研究会	B5	94 22~31
女鹿潤哉	弘前大学国史研究 「えみし」社会の成立とアイヌ民族へと連なるエトノスとの関連についての予察	116		弘前大学国史研究会		1~20
松井一博	国際公共政策研究 ラムサール条約が人権条約に与える影響 : 先住民の文化の保全を中心に	8	2	大阪大学大学院国際公共政策研究科		67~83
伊勢寛	新地理 戦後のわが国におけるアイヌに関する地理学的研究の展開	51	4	日本地理教育学会	B5	40 1~12
田中了 松木新 藤本英夫 中本ムツ子	知里幸恵生誕100年 幸恵の世界を訪ねて アイヌ神謡集のCDとムッチャんの話を聴くタベ 2003年7月4日に開催された集いの記録。挨拶、講演の記録のほか、巻末に史料編として関係する新聞・雑誌の記事などを付す。 開会あいさつ 文芸評論家の目を通しての幸恵の生誕一〇〇年をどうみるか 研究者の目からみた生誕一〇〇年 うたってみて、聞いてみての『神謡集』			アイヌ問題を考える懇話会	A5	66 3~5 6~18 20~29 31~43
	平成15年度 イオル再生等アイヌ文化伝承方策基礎調査報告書(アイヌ文化の地域的様相等編) 1 アイヌ文化の地域的様相/2 アイヌ文化の伝承者及びその活動状況調査について/参考資料			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	107
阿部敏夫	北星論集 北海道民話の研究(2) 中田千畝『アイヌ神話』の考察	41		北星学園大学		129~138
〔人権教育啓発推進センター〕	主要人権関係条約資料集 6月に改版出版。			人権教育啓発推進センター	A4	380
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成15年度 普及啓発セミナー報告集			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	160
相内俊一 秋辺日出男 浅倉有子 乾芳宏 井上紘一 宇井眞紀子 内田祐一 岡田路明 貝澤和明 貝澤珠美 萱野志朗 葛野次雄 工藤雅樹 佐藤孝雄 志賀雪湖 菅原勝吉 高木喜久恵 手島武雅 麓慎一 本田優子	アイヌ民族と国際人権法 アイヌ文化と北海道観光 幕府の蝦夷地政策の展開とアイヌ観 日本海沿岸におけるアイヌ文化 ピウスツキとアイヌ文化 アイヌときどき日本人 アイヌ民族と自然とのかかわり アイヌ語伝承の現状 私の教わったアイヌの心 デザインをとおしてアイヌ文化をみたととき アイヌ語を普及するには アイヌの精神文化 古代蝦夷(えみし)から見たアイヌ社会 熊送りの考古学 アイヌの口承文芸 : 語りの形式 私とアイヌ語 私とアイヌ文化(アイヌと自覚したときに) 日米先住民族政策の比較 : アイヌ民族共有財産裁判とインディアントラスト裁判 近代日本とアイヌ : 「旧土人保護法」をめぐる アイヌの生活文化					5~11 12~17 18~24 25~28 29~36 37~43 44~50 51~57 58~63 64~68 69~77 78~81 82~87 88~95 96~102 103~109 110~116 117~125 126~133 134~141

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
森岡健治 藪中剛司	考古学からみたアイヌの生活 アイヌ文化と考古学					142～153 154～160
	第7回アイヌ語弁論大会 イタカン ロー			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	88
	平成15年度 普及啓発講演会報告集			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	66
佐藤知己	古文獻によるアイヌ語諸方言の比較研 究			北海道大学大学院文学研究科	B5	323
	はしがき/Ⅰ 文献研究篇/Ⅱ 関連諸方言研究篇/Ⅲ 参考篇/Ⅳ 付録/正誤表 科学研究費補助金成果報告書。					
佐藤知己	酒田市光丘文庫所蔵「蝦夷記」のアイヌ語について					5～29
	初出は『北海道大学文学研究科紀要』111号(2003年11月)。					
佐藤知己	彰考館旧蔵アイヌ語テキスト「蝦夷チャランケ並浄瑠璃言」について					31～58
	初出は『北海道大学文学研究科紀要』109号(2003年2月)。					
佐藤知己	Phonological Status of the Epenthetic Glides in the Chitose Dia- lect of Ainu(アイヌ語千歳方言におけるわたり音の音韻的地位について)					59～83
	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』9号(2003年3月)。					
佐藤知己	アイヌ語動詞の特色					85～86
	初出は『月刊言語』31巻12号(2002年)。					
佐藤知己	アイヌ語千歳方言における kane の用法					87～115
	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』8号(2002年3月)。					
佐藤知己	A Basic Vocabulary of the Samani Dialect of Ainu (アイヌ語様似方 言の基礎語彙)					117～153
	初出は『北海道大学文学研究科紀要』106号(2002年2月)。					
佐藤知己	アイヌ語千歳方言の「第三類の動詞」の構造と機能					156～176
	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』7号(2001年3月)。					
佐藤知己	アイヌ語千歳方言における反復による有音休止					177～189
	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』6号(2000年3月)。					
佐藤知己	天理大学附属天理図書館所蔵「松前ノ言」について(1)					191～215
	初出は『北海道大学文学部紀要』93号(1998年3月)。					
佐藤知己	天理大学附属天理図書館所蔵「松前ノ言」について(2)					217～253
	初出は『北海道大学文学部紀要』97号(1999年3月)。					
佐藤知己	アイヌ文学における一人称体の問題					255～273
	初出は北海道大学文学部教官勉強会報告資料(2001年9月)。					
佐藤知己	知里幸恵『アイヌ神謡集』は読めるか : 難読箇所と特異な言語事例を めぐって					275～308
	初出は第108回北大言語学談話会報告資料(2003年12月)。改稿のうえ『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究 紀要』第10号(2004年3月)に掲載。					
佐藤知己	「蝦夷チャランケ並浄瑠璃言」索引					309～316
佐藤知己	「松前ノ言」アイヌ語索引					317～319
小林孝人、高橋英樹(編)	きのこの自然史			北海道大学総合博物館	A4	58
小林孝人、高橋英樹	北大総合博物館植物標本庫蔵『蝦夷採葉草木図』に見る「きのこ」					43～45
北海道開拓記念館(編)	北海道開拓記念館研究紀要		32	北海道開拓記念館	B5	
山田伸一	千歳川のサケ漁規制とアイヌ民族					119～142
北海道教育庁生涯学習部文 化課(編)	平成15年度 アイヌ民俗文化財調査報 告書(アイヌ生活技術伝承実態調査 Ⅴ)			北海道教育委員会	B5	160
	はじめに/安東ウメ子さんの伝承/熊田ハツエさんの伝承/出現語彙一覧					
北海道教育庁生涯学習部文 化課(編)	平成15年度 アイヌ無形民俗文化財記 録刊行シリーズ17 トウイタッ(昔語 り) 5			北海道教育委員会	B5	207
織田ステノ(語り)、 志賀雪湖(訳注)	兎の大將と海の神					11～49
安東ウメ子(語り)、 藤村久和(訳注)	息子を大きな行器に入れて救った母親の物語					51～65
金成アシリロ(語り)、 蓮池悦子(訳注)	柳と春楢の対話					67～125

2004年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
金成アシリロ(語り)、 蓮池悦子(訳注)	十勝の悪行夫婦					127～176
蓮池悦子(編) 小松哲郎	語り手別アイヌ語索引 英文解題					177～198 199～205
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成15年度 アイヌ無形民俗文化財調査報告書(ユーカラシリーズ26) 海の妖精十二人の兄妹			北海道教育委員会	B5	220
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成15年度 知里真志保フィールドノート(3) 知里真志保のプロフィール/凡例にかえて/知里真志保フィールドノート			北海道教育委員会	B5	107
北海道立文書館(編)	北海道立文書館所蔵公文書件名目録 19 札幌県治類典(8) 土木課、衛生課、警察本署、庶務課などの文書の件名を収録。			北海道立文書館	A4	116
留萌市海のふるさと館(編)	留萌市海のふるさと館紀要	15		留萌市海のふるさと館	A4	102
福士廣志、高橋勝也	〔資料紹介〕昭和九年 郷土誌 留萌町潮静尋常小学校 全潮静青年学校 「北海道ノ歴史」「地名ノ沿革」などあり。					1～41 (縦組)

2004年4月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年4月】						
岡雅彦	グラフ旭川		304	グラフ旭川	B4	72
	アイヌの文化5 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：『国づくりの神々』(3)					61
	月刊いぶり		3	いぶり政経研究所	B5	98
	ユーカラを口ずさんで…2					53
	コタンの風景3 アイヌ文化の今 衣服におりこまれたアイヌ民族の心					52～53
吉田真弓 時田則雄	辛夷	59	4	641 辛夷社	A5	92
	ふみ子の選んだ言葉(25) 歌三首。					8～12
	ポロシリ庵雑記(2)					40～43
堺比呂志	人間像		171	人間像同人会	A5	154
	松田田十郎とアイヌ(9)[完]					132～148
青柳文吉	文化情報		264	北海道文化財保護協会	B4	4
	二〇世紀の目撃者、写真家・掛川源一郎					2
太田善繁	北の青嵐		135	北の青嵐	B5	27
	探検家からみたトカチ・ヒロウの歴史					2～9
榊原正文	北海道のつり	34	4	400 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 8 「る」の付く地名					113～115
アイヌ問題取材班	北方ジャーナル	33	4	414 北方ジャーナル	A4	114
	ウタリ協会の病根をえぐる 6 「読者の広場」にも関係投書あり。					16～23
『飛磔』編集委員会(編) 白川ただし(写真と文)	飛磔		42	つぶて書房(発売：れんが書房新社)	A5	164
	ウイルタ民族『慰霊碑』の除幕式					99～101
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより		57	別海町郷土資料館	A4	2
	「加賀家文書」の調査・研究から その11 : 「会津藩 シベツ場所と伝蔵」1					2
小笠原信之	アイヌ共有財産裁判 : 小石一つ自由にならず			緑風出版	A5	260
	第一部 チャランケ/第二部 「訴えの利益」の壁/第三部 扉をこじ開けた/あとがき					
帯広市企画部広報課(編) 内田祐一	広報おびひろ		959	帯広市企画部広報課	A4	24
	アイヌの人々の生活101 エハ(ヤブマメ)					24
白老町企画課元気まち推進係(編) 中村齋	げんき		524	白老町企画課元気まち推進係	A4	33
	アイヌ千一夜物語20 アットゥシ					20
部落解放・人権研究所 友永雄吾	部落解放研究		157	部落解放・人権研究所	A5	96
	2003年先住民作業部会と国連人権小委員会報告					55～68
飯部紀昭	北方圏		127	北方圏センター	B5	82
	こんには イランカラプテ 悲願のアイヌ文化施設					50
平良識子 成田英敏 多原順也	先住民族の10年 News		103	先住民族の10年市民連絡会	B5	16
	琉球・沖縄民族とアイヌ民族の子どもの権利 [今月の本]『沙流地方のウウェベケレ 上田としの伝承』平石清隆著・発行					2～3
	おぼろのひとりごと(11)					12
金田一京助(著)、藤本英夫(編)	ユーカラの人びと 金田一京助の世界 1			平凡社	16×11	294
	金田一京助のアイヌ語研究関係の論考を、全集(三省堂刊)収録作品を中心に一部未収録作品を加え編集。目次：Ⅰ(片言をいうまで/アイヌの話：「心の小道」余話/安之助/樺太便り/思い出の樺太/イランカラプテ：アイヌをにっこりさせる一言)/Ⅱ(太古の国の漏路から/盲詩人/人差し指の話/ペンを休めて)/Ⅲ(葉がぐれの花：マツさんとナミさん/近文の一夜/知里幸恵さんのこと/秋草の花/胸打つ哀愁!!：知里幸恵さんの日記とその追憶/知里君をしのぶ：人とその業績/アイヌ語ノート/『アイヌの話』序)/Ⅳ(達星青年/『若きウタリに』序/アイヌの佐倉宗五郎の話：問題の旭川土地の一件/収税吏と間違えられた話：アイヌ部落歴日誌)/Ⅴ(「心の小道」をめぐって)/初出一覧/解説 金田一京助という人(藤本英夫) 平凡社ライブラリー					
藤本英夫	〔解説〕金田一京助という人					287～294

2004年4月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
神奈川大学日本常民文化研究所 (編)	民具マンスリー	37	1	433	神奈川大学日本常民文化研究所	A5	24
関秀志	『北海道民具事典』の編集について						9 ~ 14 (8595 ~ 8600)
久保寺逸彦 (著)、佐々木利和 (編)	久保寺逸彦著作集2 アイヌ民族の文学と生活				草風館	A5	311
	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。アイヌ文化良書刊行会2月20日発行の増刷。						
	シサム通信			144	シサム通信編集委員会	B5	15
	オホーツク文化資料館通信			56	オホーツク文化資料館	B5	4
伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 4						241~244
大阪府立弥生文化博物館 (編)	弥生のころの北海道				大阪府立弥生文化博物館	A4	91
吉村健 木谷秀次 石神恰	北海道の「名付け親」 恵みをもたらす「神の魚」サケ 続縄文の精神世界						14~15 22~24 38~43
日本解放社会学会 (編)	解放社会学研究			18	日本解放社会学会	A5	
東村岳史	『現代のアイヌ』における「現代」の位相 : 1960年代のルポルタージュ作品に描かれたアイヌ社会と和人社						102~128
掛川源一郎 山口昌男 掛川源一郎 掛川源一郎	gen 掛川源一郎が見た戦後北海道 掛川源一郎の写真をみる 戦後・私の目線 : アイヌ民族にとって北海道とは 序にかえて 「戦後・私の目線」断章 写真解説 掛川さんの写真が私たちに語ること イレササポの贈り物 眼差しの来歴 : 掛川源一郎の写真を巡るノート・序 「北海道人」とは誰のことか : 編集後記にかえて				北海道新聞社	20×30	167 130 132~133 134~143 144~149 150~152 153~157 158~163 167
伊藤せいち 伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信 arawe アラウェ 浮きかす アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 5			57	オホーツク文化資料館	B5	4 245 246~248
	間宮林蔵顕彰会だより 間宮林蔵顕彰会設立十周年記念林蔵祭 開催 林蔵子孫、一同に会して盛大に開催			19	〔間宮林蔵顕彰会〕広報事業部	B5	
〔ウィルタ協会〕	アルトゥ ウィルタ協会会報 特集 追悼小池喜孝氏 小池喜孝さんのこと 小池先生を偲ぶ : 民衆史運動から学んだこと 人生の師			25	ウィルタ協会	A5	12 1~6 6~8 8~11
宇井真希子 (写真、文)	ASIR RERA : AINU SPIRITS 写真集。ページ番号印刷なし。				新風舎	A4	
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない			677	静内町	A4	19
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ワッカクトゥ (ヨブスマソウ)						後表紙
bklwith 熱い書評プロジェクト	熱い書評から親しむ感動の名著				すばる舎	B6	367
みーちゃん	〔書評〕蝦夷地別件 船戸与一						134~138
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全対策調査室通信 シシリムカ・イオル文化大学 第7回講座のお知らせ/アイヌ文化環境保全対策調査室の紹介			1	アイヌ文化環境保全対策調査室 (平取町)	A4	2
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 平取町歴史の散歩道〔マンローを紹介〕 平取町のチャシ&遺物 No. 10 ポロモイチャシ跡			13	沙流川歴史館	A4	8 2 4
福岡イト子	しらかば アイヌの口承文芸1 なぜフキノトウ (マカヨ) になったの? 砂沢クラの口承文芸『日本の昔話1 アイヌの昔話』日本放送出版協会、1972年) から紹介。			201	市立小樽図書館	A4	8 1

2004年4月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.1 講師太田満				アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	
平取町役場企画課広報広聴係(編)	広報びらとり 二風谷アイヌ文化博物館だより		534		平取町役場	A4	18 18
歴史科学協議会(編)	歴史評論 特集：オーラル・ヒストリーと女性史		648		校倉書房		
児島恭子	アイヌ史研究とオーラル・ヒストリー						43～52

2004年 5 月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年 5 月】						
岡雅彦	グラフ旭川		305	グラフ旭川	B4	74
	アイヌの文化6 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (1)					59
	ダベッサー		227	ダベッサー	B5	74
	【カメラアングル】観光客に神々の物語 阿寒湖アイヌコタン					4～5
	月刊いぶり		4	いぶり政経研究所	B5	96
	コタンの風景4 アイヌ文化の今 トンコリの音 ユーカラを口ずさんで… 4					49
時田則雄	辛夷	59	5	642 辛夷社	A5	90
	ボロシリ庵雑記(3)					40～43
青木茂治	地理学評論	77	6	日本地理学会(発売：古今書院)	B5	
	【書評】アイヌ語地名研究会編 : アイヌ語地名研究5					460～462
秋葉実 関秀志	北の青嵐		136	北の青嵐	B5	15
	場所請負人によるアイヌの強制使役 : 15歳から50歳までの男女を場所人別の二割					1～3
	幕末の開拓地(8)					4～7
榊原正文	北海道のつり	34	5	401 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.9 「セキタン岬」はどこ？					111～113
	北方ジャーナル	33	5	415 北方ジャーナル	A4	126
〔別海町郷土資料館〕	別海町郷土資料館だより		58	別海町郷土資料館	A4	2
	加賀家文書歴史講座のお知らせ : 加賀家に残るユーカラを読む 講座予告記事。					2
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信		58	オホーツク文化資料館	B5	4
	『東蝦夷物産誌』における地名					249～252
平佐修 佐々木聡	ノースアングラーズ	7	5	30 つり人社	A4	130
	北海道面白川散歩 第30歩 人 その2 二風谷ダムに見るダムの盲点					99 104～108
武田亜弓	北海道・東北史研究会会報		3	北海道・東北史研究会	B5	4
	【例会報告の要旨】 報告要旨					
計良光範 平野正美 越田清和	先住民族の10年 News		104	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	ヤイユーカラの森の鹿狩り					2～3
	学校教育とアイヌ文化 【今月の本】『金の風に乗って』戸塚美波子著					10～12 16
西川隆夫 西川隆夫	夷王山〔創作〕			文芸社	B6	96
	コシャマイン 同書には他にも関係記述あり。					80～86
井上孝夫	世界中の言語を楽しく学ぶ 新潮新書070			新潮社		190
	アイヌ語 コラム「心にかかる言語たち」5					59
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信		2	アイヌ文化環境保全対策調 査室 (平取町)	A4	2
	シシリムカ・イオル文化大学 第7回講座を終えて/シシリムカ イオル文化大学 第8回講座のお知らせ/春の山菜でアイ ヌ料理					
静内町総務部企画課広報広 聴係 (編)	広報しずない		678	静内町	A4	15
	アイヌ民俗資料館 アイヌ植物採録 アユシニ (ハリギリ)					後表紙
白老町企画課元気まち推進 係 (編)	げんき		525	白老町企画課元気まち推進係	A4	23
	アイヌ千一夜物語21 ピリカの唄					8
コラー・スサンネ	スラブ研究		51	北海道大学スラブ研究センター	B5	413
	安永年間のロシア人蝦夷地渡来の歴史的背景					391～413

2004年5月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
川上淳（編） 川上淳	根室市博物館開設準備室だより 栖原家史料調査 和歌山県立図書館所蔵の関係史料のリストを掲載。	19			根室市博物館開設準備室	B5	48 36～45
赤坂憲雄、菊地和博（責任編集）、京都造形芸術大学（編） 工藤雅樹 斉藤利男 赤坂憲雄	東北学への招待 古代蝦夷の世界 北の内海世界 東北学：いくつもの日本を抱いて				角川書店	A4	223 21～31 163～170 211～216
福岡イト子	しらかば アイヌの口承文芸2 早く食べないと腐ってしまうよお～／3 根は残しておいて 『知里真志保著作集2 説話・神謡編Ⅱ』及び石山キツエの伝承（『アイヌ民俗文化財報告書 アイヌ民俗調査Ⅱ（旭川地方）』から紹介。	202			市立小樽図書館	A4	8 1～2
斎藤貴男	法学セミナー [里程標 milestones] 自由と尊厳を求めて(17) アイヌ民族の尊厳を回復するために：三田一良さん	49	5		日本評論社	B5	5～8

2004年 6 月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年 6 月】						
岡雅彦	グラフ旭川		306	グラフ旭川	B4	66
	アイヌの文化7 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (2)					53
住吉光重	樺連情報		650	全国樺太連盟	B4	
	私の多蘭泊					3
	月刊いぶり		5	いぶり政経研究所	B5	104
	ユーカラを口ずさんで…5					51
	コタンの風景5 アイヌ文化の今 チセノミ・新築祝い					50～51
時田則雄 時田則雄	辛夷	59	6	643 辛夷社	A5	92
	遼星北斗の歌 ボロシリ庵雑誌(4)					1 42～45
	文化情報		266	北海道文化財保護協会	B4	4
	森竹竹市の遺稿集を発行					3
榊原文文	北海道のつり	34	6	402 水交社	B5変型	146
	「はいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 10 逆流していた豊平川!? 「対雁」と書いて「ツシカリ」					111～113
道東 S 町の怒れる町民	北方ジャーナル	33	6	416 北方ジャーナル	A4	110
	【読者の広場】ウタリ協会の不正をただせ					108
山下渉登	ものと人間の文化誌120-1 捕鯨 I			法政大学出版局	A5	292
	アイヌが語る捕鯨 所収書第1章二「豊かな幸 : 神からの贈り物」の一部。以下同じ。					21～25
	「鯨送り」儀礼は何を意味しているのか					26～27
帯広市企画部広報課 (編) 内田祐一	広報おびひろ		961	帯広市企画部広報課	A4	24
	アイヌの人々の生活102 風のおまじない					24
白老町企画課元気まち推進係 (編) 中村 齋	げんき		526	白老町企画課元気まち推進係	A4	19
	アイヌ千一夜物語22 子どもの遊び					8
北海道開拓記念館 笹木義友 出利葉浩司	北海道開拓記念館だより	34	1	183 北海道開拓記念館	A4	8
	「松浦武四郎 時代と人びと」ただいま開催中					2
	北方文化共同研究事業「18世紀以降の北海道とサハリン州・黒竜江省・アルバータ州における諸民族と文化」の紹介					6
歴史教育者協議会 (編) 伊東 循	歴史地理教育		670	歴史教育者協議会	A5	102
	【歴史研究最前線】6 蝦夷と隼人と天皇					64～69
知里森舎 (編) 知里 (横山) むつみ、 稲荷桂司、清野良憲、 出村文理	知里幸恵書誌			知里森舎	B5	150
	序 (知里むつみ) / はじめに / 『知里幸恵書誌』の構成・凡例 / 知里幸恵略年譜 / 知里家金成家系図 / I 知里幸恵著作目録 (A 刊行本『アイヌ神謡集』関係著作目録 / B 佐々木長左衛門編『アイヌの話』所収関係著作目録 / C 知里幸恵遺稿 (ノート・日記、書簡・手稿) 関係著作目録) / II 知里幸恵関係参考文献目録 / III 知里幸恵『アイヌ神謡集』等に関する資料 / IV 解説・知里幸恵『アイヌ神謡集』及びその関係文献について / 編集後記 あとがきにかえて / 索引					125～139
江淵一公	放送大学通信 on air		74	放送大学	A4	20
	【修士論文紹介】アイヌ女性の創造した衣文化 (平成14年度入学 文化情報学群 修士全科生 津田命子)					15
宇田川洋 因幡勝雄	北方探求		6	北方懇話会	B5	107
	北方地域“民族的集団”の名称 史料 黒曜石について 目次では表題「資料 黒曜石について」。					56～83 84～90
金田一京助 (著)、工藤雅樹 (編) 工藤雅樹	古代蝦夷とアイヌ 金田一京助の世界 2			平凡社	16×11	316
	金田一京助のアイヌ史・古代史・東北アイヌ語地名関係の論考を、全集(三省堂刊)収録作品を中心に一部未収録作品を加えて編集したもの。主要目次: I (奥州蝦夷種族考) / II (本州アイヌの歴史的展開/蝦夷とアイヌ: 歴史的考察/蝦夷と日高見国/蝦夷名義考: カイ説の根拠について/アイヌの系統) / III (北奥地名考: 奥羽の地名から見た本州エゾ語の研究/山間のアイヌ語) / IV (義経入夷伝説考/アイヌの叙事詩に就て) / 解説 金田一京助の古代蝦夷研究 (工藤雅樹) 平凡社ライブラリー-503					307～316

2004年6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
越田清和 成田英敏 長岡伸一(文)、宇井眞 紀子(写真)	先住民族の10年 News	105		先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	速報 アイヌ共有財産裁判高裁判決					2
	漫画エッセー ネバー・クライ・ウルフ					3
	アイヌ料理店「レラ・チセ」開店10周年					4～7
山村輝夫(絵図)	図譜コタン生物記 : 更科源蔵著に 拠る山村輝夫の絵図集			札幌弟子屈会		本体16枚
森川勇作	図譜コタン生物記 解説					4
武光誠	地名の由来から知る日本の歴史 『地名の由来を知る事典』(東京堂書店、1997年)を大幅に改稿して出版。			ダイヤモンド社	B6	230
	北海道と沖縄に難読地名はなぜ多い					45～53
	けーし風	43		新沖縄フォーラム刊行会議	A5	88
竹内涉	五月の桜					70～71
佐藤忠悦	南極に立った樺太アイヌ : 白瀬南 極探検隊秘話			東洋書店	A5	62
	ユーラスア・ブックレット No. 64					
大庭みな子(編) 津島佑子	テーマで読み解く日本の文学(上) 歌謡の発生 : アイヌの叙事詩			小学館	B6	577 152～164
	アイヌタイムズ	30		アイヌ語ベンクラブ	A4	
	アイヌタイムズ 日本語版	29		アイヌ語ベンクラブ	A4	
北海道開拓記念館	2004移動博物館「刷って、伝える 印刷再発見」展示解説書 展示資料中に『ウタリ乃光リ』あり。			北海道開拓記念館	A4	14
日本民話の会・外国民話研究会(編)	世界の鳥の民話			三弥井書店	B6	286
志賀雪湖	草色の鳥になった男の子 織田ステ語りによる口承文芸					13～15
志賀雪湖	コノハズクになった子ども 織田ステ語りによる口承文芸					15～17
志賀雪湖	トンビとヘビの結婚 虎尾ハル語りによる口承文芸					53～55
志賀雪湖	おなかの小鳥 虎尾ハル語りによる口承文芸					224～225
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信	3		アイヌ文化環境保全対策調 査室(平取町)	A4	2
	シシリムカ・イオル文化大学 第8回講座を終えて/シシリムカ イオル文化大学 第9回講座のお知らせ/魚の保存食(焼 き干し)作り					
	シサム通信	145		シサム通信編集委員会	B5	15
合田一道+番組取材班	人間登場 北の歴史を彩る 第3巻			北海道出版企画センター	B6	253
合田一道、竹内文乃 合田一道、江口ちひろ	三浦政治 アイヌ民族の教育に尽力 加賀伝蔵 アイヌの通訳として尽くす					85～96 161～170
松浦武四郎(著)、秋葉實 (翻刻・編)	松浦武四郎選集 四 已手控一～七(安政四年)			北海道出版企画センター	A5	403
静内町総務部企画課広報広 聴係(編)	広報しずない	679		静内町	A4	15
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 アンラコル(クロユリ)					後表紙
三吉笑吾(著)、山田一孝 (解説)	雪泥餘痕 : 明治官吏の出張旅行記 札幌県学務課長などをつとめた三吉笑吾の紀行文。金成太郎と同行した上京記など関係記述散在。			おうふう	B5	700
	北海道方言研究会会報	79		北海道方言研究会事務局	B5	40
三橋誠之	北海道弁の中のアイヌ語 第157回例会発表資料。					23～24
三橋誠之	地名の由来 「オタ・ウタ」について 第158回例会発表資料。					33～36

2004年6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
河原俊昭、山本忠行(編)	多言語社会がやってきた 世界の言語政策 Q&A			くろしお出版	A5	248
中尾正史	参議院の本会議でアイヌ語で話した議員がいたと聞いたことがあります が、そのことについて教えてください					86~87
手塚順考	アイヌ語のような絶滅寸前の言語を保存し、活かしていくために、私たちが がしていくべきことは何でしょうか					174~175
松原好次	「国際先住民年」は、どのような問題を提起し、どのような成果を挙げた のですか?					178~179
福岡イト子	しらかば アイヌの口承文芸4 固い肉を引っ込めて、柔らかい肉を出して 『杉村キナラブックロ伝 アイヌ神話全集1 神話編1』から紹介。	203		市立小樽図書館	A4	8 1~2
知里むつみ 知里幸恵 赤木三郎(構成)	詩人会議 小特集: アイヌ神謡集 私達の先祖は天性の詩人だった アイヌ神謡集〔「梟の神の自ら歌った謡」「狐が自ら歌った謡」を掲載〕 アイヌ古謡ウポボよりの断片構成の試み : かみのひとのさとの歌 岡 田京子氏とともに	42	6	詩人会議	A5	128 26~35 36~42 43~47
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	アイヌの人たちとともに : その歴 史と文化			アイヌ文化振興・研究推進 機構	A5	37
アイヌ文化振興・研究推進 機構	財団のあらまし 平成16年度			アイヌ文化振興・研究推進 機構	A5	31

2004年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年7月】						
岡雅彦	グラフ旭川		307	グラフ旭川	B4	74
	アイヌの文化8 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (3)					61
時田則雄	辛夷 ボロシリ庵雑誌(5)	59	7	644 辛夷社	A5	98 50～53
伊福部達、清水康行	日本音響学会誌 小特集：貴重な音声・音楽データの採録・修復・保存を考える	60	7	日本音響学会		
	日本語・アイヌ語を録音した100年前の蟬管の修復・保存及び音声再生					392～398
榎原文文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 11 「死骨」はブキミなので「千歳」	34	7	404 水交社	B5変型	146 115～117
	北方ジャーナル ウタリ協会の悪徳幹部 秋辺と吉田の「復活劇」に会員らが激怒	33	7	417 北方ジャーナル	A4	122 6～7
『itahcara』創刊号編集事務局	itahcara (イタハチャラ)		3	『itahcara』創刊号編集事務局	A4	50
北原次郎太 田村将人 中島千鶴 太田カムソッカイ 楠本克子 高橋靖以 田村雅史、北原次郎太	アイヌ興行団に関する一資料 附・『歴史写真』記事目録 〔史料紹介〕樺太庁の「樺太土人保護事業資金支出要項」について 明治時代作成のアイヌの倉模型について 雨川ウレのトゥイタッ 〔調査報告〕上田とし氏のウウェベケレ ウパシロンヌマの兄弟の話 アイヌ語十勝方言の動詞 emesu「上る」について 文献におけるアイヌ語のカタカナ表記					1～18 19～21 22～27 28～32 33～42 43～44 45～50
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき		527	白老町企画課元気まち推進係	A4	23
中村齋	アイヌ千一夜物語23 海岸のクジラ					8
北方文化振興協会 (編)	Arctic Circle (アークティック サークル)		51	北方文化振興協会	B5	19
	〔書評〕『アイヌ絵誌の研究』佐々木利和/『アイヌ絵巻探訪 歴史ドラマの謎を解く』五十嵐聡美					18
北海道開拓記念館 (編)	豆本40 北海道開拓記念館 第140回 テーマ展 見誤った伝統? : アイヌの機織り技術			北海道開拓記念館	A7	27
平佐修	ノースアングラーズ 北海道面白川散歩 第31歩 まぎらわしい その2	7	7	31 つり人社	A4	130 99
青森県立郷土館 (編)	青森県立郷土館だより	35	2	130 青森県立郷土館	B5	6
木村高	〔ようこそギャラリートークへ〕北からの波及文化					4
大脇徳芳	先住民族の10年 News アイヌ民族共有財産裁判、最高裁判決とその後の闘いについて P4にも関係記事掲載あり。		106	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2～3
長谷川由希 中村康利	先住民族と博物館 : オーストラリア・ビクトリア博物館協会の事例 道新で「コタン歳時記」連載					5～7 13
斎藤貴男	絶望禁止!			日本評論社	B6	256
斎藤貴男	三田一良さん : アイヌ民族の尊厳を回復するために 初出は『法学セミナー』2004年5月号掲載。					229～241
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信 営林署図の「平牛」		59	オホーツク文化資料館	B5	4 253～255
桃内佳雄	情報処理学会研究報告 アイヌ語名詞句の日本語への漸進的直接翻訳について		73	情報処理学会		79～86
旭川市博物館 (編)	旭川市博物館だより みゅじあむ		21	85 旭川市博物館	A4	16
鹿田川見 青柳信克	所蔵品目録から 常設展示「ベニウクルのくらし」一部展示替え					6 7
森潤	私、セトナになります/蟻の群れ〔創作〕			日本文学館	B6	115
森潤	私、セトナになります					3～49

2004年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	樺太アイヌ民族誌 : 工芸に見る技と匠			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	140
	八戸市博物館、帯広百年記念館、板橋区立郷土資料館にて開催されたアイヌ工芸品展の共通図録。					
大塚和義	【地図】 樺太アイヌを中心とした先住民の分布 : 1940年以前					88
大塚和義	樺太アイヌ民族誌 : 伝統と現代					90~99
北原次郎太	樺太アイヌの歴史					100~109
長谷部一弘	樺太アイヌの衣・食・住					110~113
内田祐一	樺太アイヌの信仰と生活					114~117
小西雅徳	東京人類学会と樺太調査行					118~123
小西雅徳	八戸と石田収蔵					124~125
	板橋区立郷土資料館「石田収蔵関係資料」(抄録)					126~129
	野帳の一部などの図版を掲載。					
故石本省三氏追悼論集編集実行委員会(編)	土・酒・海・山 : 故石本省三氏追悼論集			故石本省三氏追悼論集編集実行委員会	A4	89
	発刊にあたり/北海道南部の縄縄文化/追悼研究論文/偲ぶ : 思い出の記					
石本省三	北海道南部の縄縄文化					15~32
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより	14		沙流川歴史館	A4	8
	平取町歴史の散歩道〔遼星北斗を紹介〕					2
	平取町のチャシ&遺物 No. 11 ニオイチャシ跡					4
北海道文学館(編)	更科源蔵生誕一〇〇年 北の原野の物語			北海道立文学館	A5	31
	アイヌ文化と郷土研究					16~18
静内町総務部企画課広報広聴係(編)	広報しずない	680		静内町	A4	23
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ハシカプ(クロミノウグイスカグラ)					後表紙
煎本孝	北海道大学文学研究科紀要	113		北海道大学大学院文学研究科		31~64
山浦清	アイヌ文化における死の儀礼の復興 : 紛争解決、共生、行為主体					
	北方狩猟・漁撈民の考古学			同成社	B5	334
	はじめに/序章 民族誌にみる銛の構造と機能/第1部 日本列島をめぐる視点から/第2部 環オホーツク海地域という視点から/第3部 環極北地域という視点から/引用文献/初出一覧/あとがき					
小川昭一郎(編著)	幕末オホーツク沿岸開墾畑作史料集			道都大学小川研究室	A5	214
佐藤さとる(作)、村上勉(絵)	コロボックルふねにのる : コロボックル絵童話2			講談社	20×21	32
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園(編)	北大植物園資料目録 第5号 所蔵考古資料目録(1) 旧豊平川右岸丘陵地出土土器の見当 : 植物園所蔵名取武光・後藤寿一調査資料再報			北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園	A4	67
福岡イト子	しらかば	204		市立小樽図書館	A4	8
	アイヌの口承文芸5 銀の滴降る降るまわりに					1~2
	知里幸恵『アイヌ神謡集』から紹介。					
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	41
	講師 太田満					
弘南堂書店	弘南堂古書目	45		弘南堂書店	B5	88
	樺太関係文献特輯 附 千島・北方領土関係					

2004年8月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年8月】						
岡雅彦	グラフ旭川		308	グラフ旭川	B4	64
	アイヌの文化9 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (4)					53
	文化情報 浦臼は「やなのある川」		268	北海道文化財保護協会	B4	4 1
後藤秀彦	北の青嵐		139	北の青嵐	B5	18
	近世文書に見るトカチ・ホロウ・ヲホツナイ					12～18
榎原正文	北海道のつり	34	8 405	水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 12 嗚呼、憧れのモーラップ・キャンプ場！					113～115
〔別海町郷土資料館〕 戸田肇雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その12 : 「会津藩 シベツ場所と伝蔵」2		61	別海町郷土資料館	A4	2 1～2
帯広市企画部広報課 (編) 内田祐一	広報おびひろ		963	帯広市企画部広報課	A4	16
	アイヌの人々の生活103 海にすむカムイ (神)					16
白老町企画課元気まち推進係 (編) 中村齋	げんき		528	白老町企画課元気まち推進係	A4	19
	アイヌ千一夜物語24 イオル構想って？					6
尾崎功	北海道 道の駅 地名ぐりの旅 : 新旧地形図が語る			北海道出版企画センター	B5	194
立命館大学国際平和ミュージアム 藤井修 佐藤奈奈	立命館大学国際平和ミュージアムだより	12	1 32	立命館大学国際平和ミュージアム	A4	24
	〔事業報告〕銀のしずく 降る降る 知里幸恵「アイヌ神謡集」の世界 「知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界」を知って 特別展「銀の滴降る降る 知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界」によせて					7～9 10～12 13～14
	月刊いぶり		7	いぶり政経研究所	B5	124
	「アイヌに関する教育の充実を求めて」 白老町教委アイヌ民族博物館と教職員たちの熱い夏!!					82～85
「東アジアと東北」編集委員会 (編) 佐藤重雄 佐藤利勝	東アジアと東北			教育史料出版会	B6	353
	十七世紀の「アイヌ民族独立戦争」と「アイヌ神謡集」 北方政策と庄内藩 : 庄内藩の蝦夷地経営					74～81 98～105
兵庫人権問題研究所 原島則夫	人権問題 明治時代におけるアイヌの運動に学ぶ		332	兵庫人権問題研究所	A5	
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信 スタッフコメント紹介/夏の研修報告		4	アイヌ文化環境保全対策調査室 (平取町)	A4	2
静内町総務部企画課広報広聴係 (編) アイヌ民俗資料館	広報しずない		681	静内町	A4	23
	アイヌ植物採録 アツニ (オヒョウ)					後表紙
〔千葉大学ユーラシア言語文化論集〕第7号編集委員会 (編) SHIRAISHI Hidetoshi 中川裕	ユーラシア言語文化論集		7	千葉大学ユーラシア言語文化論講座	B5	205
	Folktales of the Saru Dialect of Ainu : Ueda Toshi's Uepeker 3 アイヌ口承文芸テキスト集5 : 白沢ナベ口述 ワウオリ : アオバトが生まれたわけ					115～139 161～174
古川純一 古川純一	日本超古代地名解 : 地名から解く 日本語の語源と古代日本の原像			彩流社	B6	503
	アイヌ語					21～122
福岡イト子	しらかば		205	市立小樽図書館	A4	8
	アイヌの口承文芸6 雷神、ハルニレ姫にうっとり 金成マツの伝承 (金田一京助『アイヌの神典』) から紹介。					1～2
川上淳	広報ねむろ		772	根室市役所情報管理課	A4	16
	北千島アイヌの「タバコ入れ」					16

2004年8月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
アレフ 生物多様性実行委員会 萱野茂(講演)	「共生の大地」 北海道&ニュージーランド生物多様性シンポジウム 【特別講演】 天の国から役目なしに降ろされたものはひとつも無い				アレフ	A4	159
平取町役場企画課広報広聴係(編)	広報びらとり 二風谷アイヌ文化博物館だより				平取町役場	A4	18 18
北海道教職員組合、北海道私立学校教職員組合(編)	北海道の教育 第38集 : 第53次合同教育研究全道集会(日高)報告 平和・人権教育 第14分科会報告。				北海道教職員組合、北海道私立学校教職員組合	A5	534 285～310

2004年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
【2004年9月】						
岡雅彦	グラフ旭川		309	グラフ旭川	B4	62
	アイヌの文化10 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (5)					51
谷本晃久	北の青嵐		140	北の青嵐	B5	18
	イコリヤカニの蒔絵の行器					1～5
榊原正文	北海道のつり	34	9	406 水交社	B5変型	146
	「ほいど」漢師のアイヌ語紀行 Vol. 13 せめてエ〜歌棄、磯谷ま〜でエ〜					113
坂本寿夫	本郷		53	吉川弘文館	A5	48
	「ミュージアム・コレクション」北方ロマンの絹織物					表紙裏
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館より		62	別海町郷土資料館	A4	2
	「加賀家文書」の調査・研究から その13 : 「会津藩 シベツ場所と伝蔵」3					2
アイヌ民族博物館(編) 野本正博 中村齋	アイヌ民族博物館だより		51	アイヌ民族博物館	A4	8
	フィンランド特別展 : アイヌー祈りの世界					2～3
	イオル構想とアイヌ民族博物館					4
	行事報告(2002. 10～2004. 8)					5～7
白老町企画課元気まち推進係(編) 中村齋	げんき		529	白老町企画課元気まち推進係	A4	23
	アイヌ千一夜物語25 十二人の長老図					10
北海道開拓記念館 手塚薫 舟山直治 東俊佑、山田伸一	北海道開拓記念館だより	34	2	184 北海道開拓記念館	A4	8
	鶴の舞(サロルニムセ) : 『蝦夷風俗画』より「蝦夷人鶴舞図」〔表紙写真解説〕					1
	第59回特別展 北海道の民俗芸能 : 舞う・囃す・競う 「アイヌ民族の芸能 : 移動する文化境界」の項目あり。					2～3
	歴史講座 歴史のなかの〈異言語〉 : 通詞とアイヌ語地名 「アイヌ民族の芸能 : 移動する文化境界」の項目あり。					5
アイヌ民族博物館	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信		5	アイヌ文化環境保全対策調 査室(平取町)	A4	2
	アイヌ文化環境保全対策調査委員会第7回会議を終えて/チッサンケ			船おろし祭り		
アイヌ民族博物館	コタンメール		11	アイヌ民族博物館	A4	2
	カワシンジュガイを採ろう : 第4回アイヌ語教室/シキナ(ガマ)を干す/みなさんの学習室開設					
菊池徹夫(編) 菊池徹夫	文字の考古学 II			同成社	B6	283
	北東アジア : 文字から遠い世界					119～137
狩野雄一	先住民族の10年 News		107	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	「アイヌ文化振興財団のあり方に関するアンケート」添付。 集会報告 アイヌ民族共有財産裁判は最高裁へ					6～7
	ピリカ・モシリ		28	「北方領土の日」反対!「アイヌ新法」実現!全国実行委員会	B5	19
	アイヌタイムズ		31	アイヌ語ペンクラブ	A4	
	アイヌタイムズ 日本語版		30	アイヌ語ペンクラブ	A4	
竹内渉	けーし風		44	新沖縄フォーラム刊行会議	A5	86
	アイヌとハワイアンの文化交流					56～57
函館市総務部市史編さん室 細見一夫	はこだて 市史編さん室だより		3	函館市総務部市史編さん室	B5	8
	昭和20年代から30年代の函館③ 記事中に「北洋博覧会」(1954年)の紹介あり。博覧会中に「アイヌ館」あり。					4～8
静内町総務部企画課広報広聴係(編) アイヌ民俗資料館	広報しずない		682	静内町	A4	23
	アイヌ植物採録 チキサニ(ハルニレ)					後表紙
加藤恵	別冊歴史読本95 日本史ミステリー探 検 英雄不死伝説	29	27	689 新人物往来社	B5	184
	義経生存伝説紀行					5～16
谷川健一 谷川健一 谷川健一	心にひびく 小きき民のことば			岩波書店	B6	257
	序 「小きき者」に寄す 松浦武四郎 : 蝦夷探検家の告発					V～X 140～146

2004年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
谷川健一	ウタリのかき : 知里幸恵とバチエラ八重子					147~159
東村岳史	社会言語学 「千島アイヌ語絶滅の報告」の背景と文脈 : ある「危機言語」をめぐる調査者-被調査者関係	4		「社会言語学」刊行会	B5	89 1~10
松本あづさ	道歴研会報 「2002年度卒業論文発表会」近世後期の蝦夷地調査について : 近藤重蔵とアイヌ	83		北海道歴史研究者協議会	B5	8 6~8
平村治男 川奈野元子 萱野茂(談)、生田目江里子(絵、文)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 私の祖父はベンリウク 訪問インタビュー 第74回 アイヌの民具紹介 No.4 里帰りの民具 ニマ(木の鉢)・茶托	76		平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 4~6 10
吉田正生	北海道教育大学紀要(教育科学編) 中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族記述について : 中近世史記述に限定して	55	1	北海道教育大学	A4	121~132
「図書館情報メディア研究」編集委員会(編) 新藤透	図書館情報メディア研究 コシャマインの戦いに関する『新羅之記録』の史料学的検討	2	1	「図書館情報メディア研究」編集委員会	A4	22 1~10(縦組)
いしかり砂丘の風資料館	エスチュアリ 北海道の玉と首飾り	21		いしかり砂丘の風資料館	A4	6 6
安田敏朗 安田敏朗	日本語学は科学か : 佐久間鼎とその時代 「日本帝国大学言語学」の射程 : 上田万年から金田一京助へ			三元社	B6	344 25~57
津田太愚(著)、つだゆみ(マンガ)	「義経」のことがマンガで3時間でわかる本 「アイヌの武将になった」という伝説もある			明日香出版社	A5	236 222~223
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編) 小川正人	アイヌ民族文化研究センターだより 企画展 アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から アイヌ史関係新聞記事の調査研究 : 胆振・日高地方	21		北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	8 1 3~4
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2003(平成15年度)			北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	16
鈴木しおり(編) 木村雅信(作曲)	サハリン先住民族「ニブフ」の伝統芸能アンサンブル : 『イフ・ニフ・ニブグン』ポルト公演に基づく報告書 【委嘱作品】1 アイヌのモードによる舞曲第40番 作品解説もあり。			北海道浅井学園大学北方圏学術情報センター	A4	87 18~23
福岡イト子	しらかば アイヌの口承文芸7 暴れん坊の風の神が、ツルウメモドキになっちゃったあ 更科源蔵「ツルウメモドキになった風の神(『アイヌ民話集』)から紹介。	206		市立小樽図書館	A4	8 1~2
鏡味明克	人間文化 北海道におけるアイヌ語地名の現代日本語接触変化	19		愛知学院大学人間文化研究所		294~284
黒岩幸子	総合政策 千島列島における第一のトポスの盛衰について : 「北方領土」と千島	6	1	岩手県立大学総合政策学会		27~62
チュプチセコルさんを思う会 石原祐子 青木悦子 浅尾芳嗣 伊藤哲男 上谷正男 藤居優 大熊ワタル 小垣隆美 岡田孝治	oya mosirta sine ainu siknu wa an katu ene an hi... はじめに 恐竜が星を持っている : チュプさんのマンガから 【無題】 チュプチセコルさんと同行した遠足 アイヌについて どう教える?! チュプチセコルさんと私 近畿地方にいた隼人 : チュプさんの遠足から 月の輪を追いかけて 【無題】 「古代のアイヌモシリを尋ねて」の会の足跡			チュプチセコルさんを思う会	A4	79 5~10 11 12 13 14~16 17~19 20~21 22~23 24 25~27

2004年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号 通巻	発行者	判型	ページ
okumuea aki	〔無題〕				28
上出隆一	〔無題〕				29
	星がいっぱいの中を飛ぶ : チュプさんのマンガから				30
きむらりえ	コドモのきもち				31~33
ケメ	〔無題〕				34
越水利江子	チュプさん 2003/2/10				35~37
米田道雄	チュプさんの思い出				38~39
藤居優	月と桂 : チュプさんの遠足から				40~43
千松信也	〔無題〕				44~45
長岡伸一	映画の都の満月は、和人メディアの闇夜を照らす				46~47
中川敬	チュプチセコルさん・追悼文				48~49
仲間恵子	空から見ているだけなんて				50
	地上はホテルでいっぱいだ : チュプさんのマンガから				51
藤居優	し残したレポート				52~59
富美蘭坊	チュプチセコルさん を偲んで				60~61
松川貴彦	チュプさんの怒った顔と笑った顔				62~63
文公輝	チュプチセコルさんのこと				64
きむらりえ	2004年1月24日に行われた「つどい」の報告				65~67
もとい	〔無題〕				68
安田剛志	チュプチセコルさんのこと				69~72
吉川均	チュプチセコルさんの事				73~75
oripak Esaman	〔無題〕				77~79

2004年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年10月】						
岡雅彦	グラフ旭川		310	グラフ旭川	B4	72
	アイヌの文化11 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (6)					61
時田則雄	辛夷 アイヌ民謡を聞きながら 安東ウメ子のCD『IHUNKE』に触れる。	59	10	647 辛夷社	A5	90 1
木田瑞恵	道博協ニュース アイヌ民族博物館活動の近況		82	北海道博物館協会	A4	8 4
中村和之 堺比呂志	北の青嵐 山本多助「トバットミ」の紹介 菅江真澄の墓に詣でて		141	北の青嵐	B5	18 4～7 8～18
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 14 「蛙の漁場」が「一番」大事!!	34	10	407 水交社 〔ちど・いっちゃん〕	B5変型	146 111～113
『飛磔』編集委員会 (編) 太田武二	飛磔 エスニックコンサート〇周年を終えて		43	つぶて書房(発売：れんが書房新社)	A5	152 119～126
〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その14 : 「会津藩 シベツ場所と伝蔵」4		63	別海町郷土資料館	A4	2 2
白老町企画課元気まち推進係 (編) 中村齋	げんき アイヌ千一夜物語26 白老会所		530	白老町企画課元気まち推進係	A4	27 14
文化庁文化財部 (監修)	月刊 文化財 特集「北の大地と文化財」		493	第一法規	B5	52
佐々木利和 青柳信克 吉原秀喜 甲地利恵 谷本晃久 豊原照司	特集「北の大地と文化財」によせて アイヌのびびとと文化財 アイヌの生活用具コレクションはどう活かされているか 「アイヌ古式舞踊」伝承の現在 箱館奉行所文書にみるアイヌの社会史 史跡としてのチャシはどう活かされているか : ユクエビラチャシを例に					4～5 6～8 9～11 12～15 16～18 19～21
北海道観光連盟アイヌ文化 部会ワーキンググループ	アイヌ文化を理解するための手引き : 新たな観光を目指して 1 アイヌという言葉/2 歴史について/3 人々のくらし/4 文化について/5 言語について/6 工芸、民芸品について/ 7 写真等の活用にあたっての留意事項/8 使用上注意すべき主な用語について/9 よくある観光客からの質問/10 主なアイヌ関連団体・機関/11 アイヌ文化関連施設/12 アイヌの人たちに関わる歴史			北海道観光連盟	A4	24
北方文化振興協会 (編) 杉山亨司	Arctic Circle (アークティック サークル) コレクションの系譜10 日本民芸館とアイヌ工芸		52	北方文化振興協会	B5	19 12～13
高木浩明 (著)、ブルボン クリエイション (編)	義経 新詳解事典 義経北行伝説2			学習研究社	B6	271 230～231
北海道立文書館 (編)	赤れんが 特集：函館奉行書文書の世界		39	北海道立文書館	A4	12
谷本晃久 小林真人	濃やかな近世アイヌ社会像を知るために 山丹交易					8 9
計良光範 長岡伸一	先住民族の10年 News [グループ紹介]その28 ケウトム ピリカの会 [今月の本]グローバル時代の先住民族 [今月の本]南極に立った樺太アイヌ 白瀬南極探検隊秘話		108	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 11 12 13
宇田川洋 (編)	ものが語る歴史 9 クマとフクロウ のイオマンテ : アイヌの民族考古学 はしがき/I 虹別シュワンという地名とその場所/II 1939年のイオマンテ/III 遺跡としてのシュワン/IV 発掘調査を通して/ V 送られたもの/VI 送られた動物/VII ヒグマの“送り”儀礼 /VIII シマフクロウの送り儀礼/IX ハシバミ 孝太郎エカシのこと /X 聴き取り調査で得られた民族学的情報(1)/XI 聴き取り調査で得られた民族学的情報(2)/XII 聴き取り調査で得られた民 族学的情報(3)/XIII シマフクロウの生態/XIV 名流「西別川」の今・昔・結びにかえて			同成社	A5	236
豊原照司 宇田川洋 宇田川洋	虹別シュワンという地名とその場所 1939年のイオマンテ 遺跡としてのシュワン					3～27 29～39 41～46

2004年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
宇田川洋、豊原熙司 宇田川洋、豊原熙司 佐藤孝男 佐藤孝男 宇田川洋 宇田川洋 宇田川洋 (編) 豊原熙司 (編) 豊原熙司 (編)	発掘調査を通して 送られたもの 送られた動物 ヒグマの“送り”儀礼 : 起源をめぐる研究の現状と課題 シマフクロウの送り儀礼 ハシバミ孝太郎エカシのこと 聴き取り調査で得られた民族学的情報(1) 聴き取り調査で得られた民族学的情報(2) 聴き取り調査で得られた民族学的情報(3)					47～54 55～71 73～89 91～110 111～131 133～142 143～181 183～190 191～203
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信	6		アイヌ文化環境保全対策調 査室(平取町)	A4	2
	シシリムカ・イオル文化大学 第9回講座のお知らせ/イヨマンテ’ 熊送り)とは/最近の調査室					
	シサム通信	146		シサム通信編集委員会	B5	15
山本敬介	East Side 二風谷の和人がつくるアイヌ民具の「高野民芸」 【リージョナル・ブックス】クマにあたらどうするか 姉崎等・片山龍 峯著 : 会いたいけれど逢いたくないヒグマの手引書	10		パルクカンパニー	A4	88 76～78 43
	知里森舎通信	12		知里森舎	A4	14
アイヌ民族博物館	コタンメール 「学習応援室」大人気/大学生がアイヌ語に挑戦 : 苫小牧駒澤大学で/スイスからの訪問者	12		アイヌ民族博物館	A4	2
アイヌ無形文化伝承保存会 (編)	平成16年度 アイヌ民俗文化財専門職 員等研修会 講義資料			北海道教育委員会	B5	17
小林淳	伊福部昭 : 音楽と映像の交響 上 同書には下記の他にも関係記述あり。巻末に人名、映画作品名、音楽作品名の索引あり。			ワイズ出版	A5	351
小林淳 小林淳	更料源蔵の詩を歌う伊福部歌曲 『シンフォニア・タブカール』と伊福部音楽の1954年					223～229 247～323
竹内渉	野村義一と北海道ウタリ協会 はじめてに/私論・野村義一/座談会・野村義一を囲んで/北海道ウタリ協会略史/資料編(新聞記事「アイヌ民族として」(『苫 小牧民報』)/対談「白老にて貝澤正さんと」/発言集)/あとがき/主な参考文献/野村義一関係年譜 竹内渉『野村義一研究報告書』(2004年2月)に加筆集成し、参考資料の一部を削除、新たに「北海道ウタリ協会略史」を 加える。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。市販は草風館発行版による。			竹内渉	B6	242
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 〔表紙写真解説：沙流川流域史調査団による撮影写真を紹介〕 「沙流川周辺の生きものたち」と「アイヌの生活」 No. 1 平取町の遺跡&遺物 No. 12 二風谷遺跡	15		沙流川歴史館	A4	8 1 2 4
静内町総務部企画課広報広 聴係 (編)	広報しずない	683		静内町	A4	23
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ハッ (ヤマブドウ)					後表紙
富樫利一	風に祈る 新聞・雑誌等に掲載してきたエッセイ23編、評論2編、授業案1編、創作1編をまとめたもの。財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構出版助成。タイトル「風」のルビは「rera」。			彩流社	B6	189
	とどまつ F. マライーニさんを偲ぶ	26	49	北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会	B5	32
乳井洋一						
帯広市図書館(帯広叢書編 集委員会)(編)	帯広叢書第52巻 吉田巖資料集 18 1 日記3-17(昭和12年1月～3月)/2 調べ書き4-2(アイヌ文化に関する聞き書き、その他のメモ)/3 出現語彙一覧/ 4 注釈用参考文献一覧			帯広市教育委員会	B5	239
板倉聖宣	ミニ授業書 えぞ地の和人とアイヌ人 : 二つの民族の出会い はしがき/第1部(「江戸時代と蝦夷地＝北海道」ほか)/第2部(「えぞ地に永住した人びと」ほか)/第3部(「アイヌの人 たちの食料」ほか)/アイヌ人と和人の歴史年図/あとがき			仮説社	A6	86
北海道立アイヌ民族文化研 究センター(編)	アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の 地名研究から 第1章 山田秀三のプロフィール/第2章 アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から/第3章 山田秀三を語る/第4章 山田秀三とアイヌ語地名を知るために 2004年10月30日から11月28日まで北海道立文学館にて開催された同名の企画展の解説図録。市販版(草風館、11月1日発 行)もあり。			北海道立アイヌ民族文化研 究センター	A4	61
城谷武男	『室蘭・登別のアイヌ語地名』のこと : 山田秀三氏の懐の深さ					16～17

2004年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
萱野茂(談) 児島恭子 柏谷恵一、佐々木利和、須摩トヨ、秋中美枝(座談会)	山田秀三さんと私 その先を見ていくために : 山田秀三文庫資料の展覧会に寄せて 座談会 山田秀三を語る					19~22 28~31 39~47
	アイヌ民族に関する教育の充実を求めて			白老町教育委員会	A4	7
福岡イト子	しらかば アイヌの口承文芸8 白樺の木のおばあさん 宿を借りたいのです 杉村キナラブック後述「宿なし熊」(『キナラブック・ユーカーラ集』)から紹介。		207	市立小樽図書館	A4	8 1~2
塩崎美保、石井智美	栄養学雑誌 アイヌ民族が伝承するオオウバユリとその栄養成分	62	5	日本栄養改善学会	A4	81 303~306
赤石慎三	月刊考古学ジャーナル 特集:北海道の貝製品 アイヌの貝製品		521	ニュー・サイエンス社	B5	15~18
谷本晃久	地方史研究 書評 榎森進編『アイヌの歴史と文化2』	54	5	地方史研究協議会	A5	90~92
里見脩	北の発言 荒ぶる魂の地に寄せて(10) アイヌ墳墓盗掘事件 : 気概とは		9	西部邁事務所		26~28
氏家等	民具研究 背負子・運搬具・運搬方法にみる北海道・東北 : 魚運搬具(もっこ)とアイヌ民族の背負紐(タラ)を中心に		130	日本民具学会		70~72
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 3 講師太田満			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	45

2004年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年11月】						
岡雅彦	グラフ旭川		311	グラフ旭川	B4	70
	アイヌの文化12 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：アイヌ・ラックル (7)					59
	シンポジウム 蝦夷からアイヌへ シンポジウムプログラム及び予稿集。			北海道大学総合博物館	A4	90
大内余庵 (著)、堺比呂志 (訳)	人間像		172	人間像同人会	A5	179
	東蝦夷夜話(1)					139～168
榊原文文	北海道のつり	34	11	408 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 15 「羆」と「鰻」は畏れ多「イ」					111～113
	北方ジャーナル	33	11	421 北方ジャーナル	A4	118
	2003～2004総集編 (前篇) 激動の時代に潜む闇を撃て! ウタリ協会の病根をえぐる 2003年11月号～2004年7月号掲載7件の記事を再掲。					85～117
吉田金彦、糸井通浩 (編) 吉田金彦 村崎恭子 梅村秀幸、網本逸雄	日本地名学を学ぶ人のために 古代地名と語源研究 日本の中のアイヌ語地名 地名研究の基本文献・資料			世界思想社	B6	350 127～140 227～233 315～340
帯広市企画部広報課 (編) 内田祐一	広報おびひろ アイヌの人々の生活104 ミミズク		966	帯広市企画部広報課	A4	20 20
日本歴史学会 (編) 武廣亮平	日本歴史 「独犴皮」についての一考察 : 古代北方世界との交流と関連して		678	吉川弘文館	A5	174 1～18
白老町企画課元気まち推進係 (編) 中村齋	げんき アイヌ千一夜物語27 コタンがコタンでなくなる時		531	白老町企画課元気まち推進係	A4	19 5
深笛義也	週刊新潮	49	42	新潮社	B5	182
	黒い報告書 「成功の証」を捨てアイヌの楽器に夢を託した女〔創作〕					117～120
平佐修	ノースアングラーズ	7	11	33 つり人社	A4	130
	北海道面白川散歩 第31歩 落し					99
山下力	被差別部落のわが半生 平凡社新書251			平凡社	新書	217
山下力	アイヌの人たちへの人権侵害					183～185
埴原和郎	人類の進化史 講談社学術文庫1682。『人類の進化 : 試練と淘汰の道のり』(講談社、2000年10月)の文庫版。			講談社	A6	334
埴原和郎 埴原和郎	アイヌ白人論 アイヌの起源は北か南か					264～268 268～271
池上二良 池上二良	北方言語叢考 北方諸言語に寄せて 初出は『月刊言語』12巻11号、1983年11月。			北海道大学図書刊行会	A5	285 3～14
池上二良	北アジア言語の動詞の構造と格支配 : 動作対象の表示に関して 初出は宮岡伯人編『北の言語 : 類型と歴史』1992年。					48～66
池上二良	北方言語の研究 初出は『北海道新聞』1965年10月5日付					112～115
池上二良	北方少数民族の言語 初出は『月刊言語』7巻9号、1978年9月。					128～131
池上二良	アイヌ語の輪郭 初出はアイヌ文化保存対策協議会(編)『アイヌ民族誌』、1969年。					195～199
池上二良	アイヌ語系統論 初出は『民族学研究』、38巻2号、1973年。					200～203
池上二良	アイヌ語のイナウの語の由来に関する小考 : ウイルタ語の illau の語源にふれて 初出は『民族学研究』、44巻4号、1980年3月。					204～220
池上二良	アイヌ語の大陸的要素 初出は北方言語研究者協議会編『アイヌ語の集い』、1994年。					221～231

2004年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
池上二良	十九世紀の樺太西部の住民について 初出は『北海道民族学会通信』、1996年3月。					232～235
池上二良	北方言語と日本語の古層 : 日本語とツングース語の関係の探索 初出は『月刊言語』16巻7号、1987年6月。					244～258
池上二良	ことばの上からみた東北アジアと日本 初出は北海道方言研究会『北海道方言研究』30号、1990年4月。					259～285
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全 対策調査室通信 アイヌ文化環境保全対策調査委員会第8回会議を終えて	7		アイヌ文化環境保全対策調 査室(平取町)	A4	2
北海道開拓記念館(編)	北海道開拓記念館要覧 平成16年度 年間事業、研究課題、職員の研究テーマ紹介など掲載。			北海道開拓記念館	A4	80
長谷川由希 成田英敏	先住民族の10年 News IL0 フェロシップ・プログラムに参加して(1) 漫画エッセー 名前の話	109		先住民族の10年市民連絡会	B5	16 5～7 12
松本成美(編)	アイヌモシリ : 山本多助エカシ生 誕百年記念誌 グラフィック 山本多助エカシと少女/1 記念誌発刊の辞/2 祝辞/3 謝辞/4 山本多助エカシ年譜/5			北海道ウタリ協会釧路地区支部 連合会、釧路アイヌ文化懇話会	A4	15
小野幸儀 山本俊一(遺族代表) 松本成美 計良光範	記念誌発刊の辞 謝辞 〔講演記録〕山本多助エカシから学んだこと 〔講演記録〕『ヤイユカラの森』と山本多助エカシ					1 5 11～13 14～15
	月刊いぶり アイヌ民族のスケール感あらわに 文献から読み解く真実のアイヌ民族の 姿 道都大学経営学部教授 田端宏さん		10	いぶり政経研究所	B5	92 30～32
北海道埋蔵文化財センター (編)	遺跡が語る北海道の歴史 : 財団法人 北海道埋蔵文化財センター25周年記 念誌 第1章 遺跡の調査/第2章 旧石器時代 : 北海道のあけぼの/第3章 キウスの縄文ムラ/第4章 縄文文化の地域性/第 5章 続縄文文化、擦文文化/第6章 アイヌ文化の考古学 (1) アイヌ文化の形成と発展/(2) 家 竪穴住居からチセへ (3) チャンシ跡/(4) アイヌ文化の低湿地遺跡/(5) 和人勢力の展開			北海道埋蔵文化財センター	A4	233
北海道近代建築研究会 (編)、角博幸(監修)	道南・道央の建築探訪			北海道新聞社	A5	171
駒本定正	日本聖公会バチラー夫妻記念教会堂					36～37
橋本努	しゃりばり 「自由」で「不自由」な社会を読み解く9 二風谷ダム問題を考える	274		北海道総合開発調査会	B5	72 56～57
	別冊太陽 先住民 アイヌ民族 新しいアイヌ史のために/アイヌ民族の風景/アイヌ民族の祈りのかたち/描かれたアイヌ民族の暮らし/伝える・つくる わたしのアイヌプリ/近代のアイヌ文学者 知里幸恵とバチラー八重子/巻末資料(本書に登場する主な用語集/もっと 深く知りたい人のための読書案内/アイヌ文化に触れる博物館・資料館/アイヌの人たちに関わる歴史)			平凡社	A4変型 (29×22)	163
知里むつみ	未来に伝えたい人 : 知里幸恵					130～132
池澤夏樹	新しいアイヌ史のために					2～3
露口啓二(撮影・文)	アイヌ民族の風景					6～15
涌坂周一	アイヌ文化前史・オホーツク文化と擦文文化					16～17
児島恭子	アイヌ文化の成立から爛熟まで					18～24
中村和之	蝦夷錦にみるアイヌ民族の北方交易					25～27
貝澤和明	明治以降・同化政策からアイヌ文化振興法へ					28～29
野本正博	送りにみるアイヌ民族の信仰					32～33
内田祐一	アイヌ民族の他界観					38～39
野本正博	祈りのかたち					40～55
野本正博	チセの構造					56～57
津田命子	衣服のかたち					60～69
広野洋	アイヌ民族の伝統料理					78～79
村木美幸	アイヌ民族の薬箱 : 薬草の知恵					72～73
村木美幸	暮らしのかたち					70～81
直川礼緒	ムックリの世界					82～83
内田祐一	描かれたアイヌ民族の暮らし					84～96
弟子シギ子	山に感謝					98～101
上野サダ	ウポポは生きること					102～103

2004年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
藤戸竹喜 計良智子 かとうまちこ オキ 小野有五 工藤直子 中川裕 吉武輝子 結城幸司 村井紀	木彫に託す思い カムイからフチたちへ、そして私たちへと… 古典的アイヌ文様に魅せられて なんでトンコリ？ 今に生きる知里幸恵 神話の時間 アイヌ神謡集の謎 第三の性 : パチェラー八重子の生き方 パチェラー八重子のメッセージを受けて 歌人パチェラー八重子と近代アイヌ文学					106～113 114～119 120～125 126～129 134～135 136～137 138～139 140～142 143 144～145
黒川みどり	つくりかえられる徴〔しるし〕 日本 近代・被差別部落・マイノリティ			部落解放・人権研究所(発売:解放出版社)	A5	230
黒川みどり 黒川みどり	境界の導入 : アイヌと沖縄の人びと 人類館事件					46～51 51～52
高橋基	アイヌ語地名研究会会報 北海道立アイヌ民族文化研究センター 企画展と記念講演会 『企画展 アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー』が開催される	21		アイヌ語地名研究会	B5	10 2～3 1
山田秀三 知里真志保、山田秀三 知里真志保、山田秀三	(復刻版) 室蘭・登別のアイヌ語地名 1979年に噴火湾社が発行した3冊本(一括箱入り)の復刻版。 (復刻版) 登別・室蘭のアイヌ地名を尋ねて (復刻版) 室蘭市のアイヌ語地名 (復刻版) 幌別町のアイヌ語地名			知里真志保を語る会	A5	
三上務	北海道いい旅研究室 Remix2 Version II Collector's Edition 屈斜路湖畔の夜はふけて1 モシリの夜はふけて			海豹舎	A5	144 84～85
金田一春彦 金田一春彦 金田一春彦	金田一春彦著作集 第12巻 父京助を語る 出典は『父京助を語る』補訂版(教育出版、1986年4月。同書初版は1977年11月)。 わが青春の記 出典は『わが青春の記』東京新聞出版局、1994年11月(初出は同紙夕刊1994年3月7日付～7月9日付連載)。			玉川大学出版部	A5	718 9～130 513～703
静内町総務部企画課広報広聴係(編)	広報しずない	684		静内町	A4	23
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トゥレプ(オオウバユリ)					後表紙
早稲田大学文学部考古学研究室	アイヌ民族の美の世界 : 土佐林コレクションに見る 2004年11月29日から12月18日まで早稲田大学会津八一記念博物館にて開催された「アイヌ民族の美の世界 : 土佐林コレクションに見る」の解説図録。			早稲田大学会津八一記念博物館	A4	33
佐々木利和 児島恭子 田村すゞ子	アイヌ文化財のコレクション 土佐林コレクションの風景 「危機言語」アイヌ語					4～5 6～8 9～11
山田一孝(解説)	北海道移住回顧録			静内郷土史研究会		83
苫小牧駒澤大学 篠原昌彦	苫小牧駒澤大学紀要 森竹竹市『原始林』『レロラチ』における日本語と母語の問題 2004年7月31日静岡市民文化会館にて開催されたアイヌ文化フェスティバル(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構主催)における講演を文章化したもの(著者付記による)。講演題目は「森竹竹市の文学世界 : 『若きアイヌの詩集 原始林』を中心に」	12		苫小牧駒澤大学	A5	200 1～22
植木哲也	隠された知 : アイヌ教育と開拓政策					17～32(縦組)
由良勇	上川郡内 石狩川本支流 アイヌ語地名解 北海道出版企画センター発行版(12月20日)もあり。目次はそちらに記載。			マルヨシ印刷	B5	230
	アイヌの人々と人権			法務省人権擁護局	A5	20
福岡ト子	しらかば アイヌの口承文芸9 さわたつものは跳ねとばし♪ さわたつものはねじり伏せ 「トリカブトの神謡」(『アイヌ伝統音楽』)から紹介。	208		市立小樽図書館	A4	8 1～2

2004年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
吉川信一	アイヌ民族史への試み : 一人のサムとして はじめに/Ⅰ アイヌ民族の現状と背景を概観する/Ⅱ 松前藩政下のアイヌ民族/Ⅲ 同化政策の強要と植民地支配/Ⅳ 民族復権運動とアイヌ文化振興法の成立/Ⅴ 深まる国際組織との連携/資料編				吉川信一	B6	251
三雲町教育委員会、松浦武四郎記念館	松浦武四郎関係歴史資料目録 : 松浦武四郎関係歴史資料調査報告書2 調査概要/解題/松浦武四郎関係歴史資料目録(書簡の部/書籍の部/絵画の部/書跡の部/工芸の部)/北海道立文書館所蔵松浦武四郎関係資料調査目録/国文学研究資料館「松浦家文書」調査目録及び同文書一覧/平成元年度版松浦武四郎関係歴史資料目録(改訂版)/松浦係太・武彦集成松浦武四郎関係資料目録				三雲町教育委員会、松浦武四郎記念館	A4	231
東京都総務局人権部人権施策推進課	みんなの人権 民族としての誇りを理解していますか? アイヌの人々の人権問題				東京都総務局人権部人権施策推進課		13~14
平取町役場企画課広報広聴係(編)	広報びらとり 二風谷アイヌ文化博物館だより		540		平取町役場	A4	14 14

2004年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2004年12月】						
岡雅彦	グラフ旭川		312	グラフ旭川	B4	66
	アイヌの文化13 カムイ・ユーカラを訪ねて 内容：マリリンコ姫の物語(1)					55
五十嵐広三	郷土誌あさひかわ	45	12	467 郷土誌「あさひかわ」	B6	86
	音威子府村「エコミュージアムおさしまアトリエ3・モア」砂澤ビッキのスタジオ再生					46～48
	P46カラーグラビア 彫刻家砂澤ビッキ没後15年「砂澤ビッキ展」 目次タイトルは「没後15年「砂澤ビッキ展」終る」					49
	ビッキの若い時代 「20世紀回顧 郷土誌あさひかわ掲載文再録」19。初出は『郷土誌あさひかわ』427号(2001年)					50～52
佐々木利和	日本歴史		679	吉川弘文館	A5	
	【口絵解説】土人印鑑『函館奉行書文書』より)					(ページ番号なし)
榊原文文	北海道のつり	34	12	409 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 16 「札幌扇状地」を形成した「豊平川」					110～113
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ		967	帯広市企画部広報課	A4	20
内田祐一	アイヌの人々の生活105 イラクサの利用					20
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき		532	白老町企画課元気まち推進係	A4	23
中村齋	特集 食材王国しらおい シンポジウム 食材王国しらおい 誇りある故郷【ふるさと】づくり スローフード運動を考える ふるさとの食文化を発見					3～5
	アイヌ千一夜物語28 オハウ					12
	monthly ランコ アイヌ文化環境保全対策調査室通信	8		アイヌ文化環境保全対策調査室 (平取町)	A4	2
	イオル文化大学第10回講座のお知らせ					
藤代冥砂	最前線		1	朝日新聞社	A5	
藤代冥砂	アイヌ文化					90～93
北海道ウタリ協会	先駆者の集い		99・100	北海道ウタリ協会	B5	16
	新役員の顔ぶれ/加藤理事長新任挨拶/平成16年度総会・代議員会/平成16年度アイヌ文化賞・アイヌ文化奨励賞贈呈式/第18回北海道ウタリ協会支部対抗ソフトボール大会/ウタリ協会主催の国際文化交流事業 ジュネーブとハワイへ青少年を派遣/アイヌ語指導者研修会					
手島武雅 石見博昭 黒田秀之 長谷川由希	先住民族の10年 News		110	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	先住民族の遺産に関する横田・サーミ文書					11～13
	「アイヌ民族共有財産裁判」最高裁へ向けての東京行動					2～5
	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いかけるもの(上)					8～10
	IL0 フェロシップ・プログラムに参加して(2)					14～16
伊藤せいち	オホーツク文化資料館通信		60	オホーツク文化資料館	B5	4
	日本語とかかわりの深いアイヌ語地名語彙					257～260
兵庫人権問題研究所 杉尾敏明	人権問題		336	兵庫人権問題研究所	A5	
	アイヌの風 in 交野					
北風史	北物語 : “試される大地” への11通のラブレター			太田出版	B6	317
北風史 北風史	黒田清隆から高橋はるみまで : 北海道の歴史 1					117～146
	コタンの口笛 北海道の歴史 2					147～174
由良勇	上川郡内 石狩川本支流 アイヌ語地名解			北海道出版企画センター	B5	230
	はじめに/資料などについて/上川郡内石狩川本支流のアイヌ語地名解/索引/参考参考文献/あとがき					
竹内渉	けーし風		45	新沖縄フォーラム刊行会議	A5	74
	『野村義一と北海道ウタリ協会』					58～59
高橋靖似	研究論集		4	北海道大学大学院文学研究科	B5	368
	【博士論文要旨】アイヌ語十勝方言の助詞					264～265

2004年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
	ビリカ モシリ	29			B5	19
『itahcara』第4号編集事務局	itahcara (イタハチャラ)	4		『itahcara』第4号編集事務局	A4	28
篠原智花	トンコリの演奏にみられる前世代の演奏者との共通点について					1～10
楠本克子	〔コラム〕施設紹介 札幌市アイヌ交流センター サッポロピリカコタン					10
丹菊逸治	ニヴフ語東方言(サハリン方言)の使役と受身について					11～17
高橋靖以	アイヌ語カラフト東海岸北部方言の親族名称に関する一考察					18～19
山崎幸治	〔コラム〕マライニ教授の視線					19
楠本克子	〔資料報告〕上田とし氏のウエベケレ 狼の襲撃から危うく難を逃れた女の話					20～23
北原次郎太	〔コラム〕最近の調査から(1) マンロー館の資料					23
田村雅史	連動詞と名詞抱合に使われる再帰接頭辞 si- と yay-					24～28
北原次郎太	〔コラム〕最近の調査から(2) 宗谷のトンコリ					28
北海道・東北史研究会	北海道・東北史研究	1		サッポロ堂書店	B5	103
坂田美奈子	アイヌモシリにおけるウレシハの原則 : 複数の視点から見る前近代蝦夷地社会史にむけて					2～17
谷本晃久	網走の漆は誰が植えたか? : あるいは、斜里アイヌの歴史意識をめぐって					56～61
女鹿潤哉	〔自著自解〕『古代「えみし」社会とその系統的的位置付け』 岩手県立博物館調査研究報告書第18冊					65～67
三浦泰之	〔新刊紹介〕菊池勇夫編『蝦夷島と北方世界』					68
大内晶子	〔新刊紹介〕河野本道著『アイヌ史新聞年表』 : 『小樽新聞』(明治期) 編					68～69
澤井玄	〔新刊紹介〕菊池俊彦著『環オホーツク海古代文化の研究』					69
東俊佑	〔新刊紹介〕松浦茂編『13世紀以降のアムール川下流・サハリン地方に関する研究』					69～70
免内勇津流	サハリン郷土誌ビュレティン総目次(1) 1990-1994					72～87
道都大学社会福祉学部図書紀要委員会(編)	道都大学紀要 社会福祉学部	30		道都大学社会福祉学部	B5	334
小川昭一郎	史料翻刻10 御渡武器、武術稽古、御備馬、諸品直段関連記事					1～52(縦組)
北方文化振興協会(編)	Arctic Circle (アークティックサークル)	53		北方文化振興協会	B5	19
若林邦彦	コレクションの系譜11 関西でふれられる擦文・アイヌ文化資料 : 同志社大学歴史資料館所蔵の北海道関連の歴史・民族資料					12～13
	季刊 札幌人	4		札幌グラフィックコミュニケーションズ	A4	82
高平順夫	サッポロ地名のうつり変わり					55～58
「人間の記録」編集部(編)	人間っておもしろい : シリーズ「人間の記録」ガイド			大空社	A5	367
	金田一京助 萱野茂					20～21
『月刊みんぱく』編集部(編)	世界民族モノ図鑑			明石書店	A5	302
大塚和義	クリールアイヌの鳥皮衣					20
大塚和義	クリールアイヌの腰帯					22～23
大塚和義	アイヌの首飾り					36～37
大塚和義	アイヌの煙草入れとキセル差し					74～75
静内町総務部企画課広報広聴係(編)	広報しずない	685		静内町	A4	19
アイヌ民俗資料館	地名の語源探検 しずない					後表紙
STV ラジオ(編)	ほっかいどう百年物語 第5集			中西出版	B6	
[STV ラジオ]	関場不二彦					53～63
[STV ラジオ]	山本多助					179～190
[STV ラジオ]	近藤重蔵					354～366

2004年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
中西裕(編)、深井人詩(監修)	書誌年鑑2004				日外アソシエーツ(発売: 紀伊國屋書店)	A5	525
田川浩之	知里真志保 『知里真志保書誌』(知里真志保書誌刊行会) 書誌解説。						503
中西裕(編)、深井人詩(監修)	書評年鑑2004				日外アソシエーツ(発売: 紀伊國屋書店)	A5	520
田川浩之	知里真志保 『知里真志保書誌』(知里真志保書誌刊行会)						503
	シサム通信		147		シサム通信編集委員会	B5	15
	しらかば		209		市立小樽図書館	A4	8
福岡イト子	アイヌの口承文芸10 サケを出してえー、シカを出してえー 知里幸恵『アイヌ神謡集』から紹介。						1~2
木名瀬高嗣	情況 第三期 〈アイヌ・文化研究〉あるいは〈「サバルタン性」〉の人類学のためのメモランダム(上)	5	11		情況出版	A5	253 211~221
魚井一由、廣田徹	専修大学北海道短期大学紀要 『M. M. ドプロトヴォールスキー著アイヌ語・ロシア語辞典』に関する一私考(4) Byekyere pikata~Gushi その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較		37		専修大学北海道短期大学		137~168
津田命子	繊維製品消費科学 アイヌ衣服と文様の変遷	45	12		日本繊維製品消費科学会		893~898

2004年 発行月記載なし

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
【発行月記載なし】							
	平成15年度 財団の活動				アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	70
	チ サンケ ソンコ		31		旭川アイヌ語教室	A4	24
	2004 mata asiranpe 1						
	チ サンケ ソンコ		32		旭川アイヌ語教室	A4	24
	2004 cuk asiranpe 2						

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2003 補遺】						
【1月】						
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき	509		白老町	A4	19
中村齋	アイヌ千一夜物語5 アイヌ民族博物館の始まり					10
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない	662		静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トウンニ (カシワ)					後表紙
梅原猛	梅原猛の授業 道徳			朝日新聞社	B6	262
梅原猛	アイヌ思想の根底にある共生と循環					124～130
北海道ウタリ協会札幌支部 (編)	アイヌ文様刺繍作品集			北海道ウタリ協会札幌支部	B5	26
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	広報びらとり	521		平取町役場	A4	18
平取町役場企画課百年記念事業推進室	国境越えの道 (三)					18
【2月】						
三浦佑之	文学界 古事記講義 : 英雄叙事詩は存在したか 「アイヌの英雄叙事詩」(179～182ページ) などあり。	57	2	文藝春秋	A5	327 168～199
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき	510		白老町	A4	17
(萩野 女性)	【ひとこと言わせて】 楽しみです アイヌ千一夜物語					7
中村齋	アイヌ千一夜物語6 クマを狩る					6
八木柳雀	オキクルミ物語【創作】			黎明社	B6	195
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない	663		静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ケネ (ヤチハンノキ)					後表紙
	ウエネウサラ : チセ・チッ復元の記録			たきかわチセ・ア・アカラの会	A5	38
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	広報びらとり	522		平取町役場	A4	12
	二風谷アイヌ文化博物館だより					12
【3月】						
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ	946		帯広市企画部広報課	A4	18
内田祐一	アイヌの人々の生活95 アイヌ文様					18
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき	511		白老町	A4	19
中村齋	【pick up 旬】 牡蠣! 干しサケづくり アイヌ千一夜物語7 クマを送る					後表紙 8
三橋誠之	北海道方言研究会会報 水・ワカ・ワッカ 第149回例会発表資料。	77		北海道方言研究会事務局	B5	52 1～6
法務省・文部科学省 (編)	平成14年度 人権教育・啓発白書 アイヌの人々			財務省印刷局	A4	181 62～65
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない	664		静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ブイ (エゾノリュウキンカ)					後表紙
滝澄子	日本文化研究 アイヌの疾病と医療 : 自然と人間の共生をめぐり	4		北海道大学大学院文学研究科	B5	186 1～21
新郷土たかす編集委員会 朝倉敏文 (文)、伊藤長治 (絵)	新郷土たかす シヤマイクルと悪神の激闘 : 神居コタン 特集 石狩川慕情 (一) コタンの伝説(109ページ～) の一部。以下同じ。	41		新郷土たかす編集委員会	B5	237 110～111

2003 補遺 3～6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
朝倉敏文 (文と写真)	石狩川のかっぱ : 近文 出典は更科源藏『北海道の伝説』					112～113
	悲恋のピリカメノコ・メツチルイ : 旭川 出典は近江正一『郷土の地名と伝説』					114
	仲間を呼ぶ岡 : 旭川					115
	悲恋の底なし沼 : 旭川					116～117
	石狩川慕情 : コタンの伝説を訪ねて					118～119
柳瀬尚紀	辞書を読む愉楽 角川選書350			角川書店	B6	261
柳瀬尚紀	ニヤッボキヒ 初出は『本の旅人』1996年8月号					26～28、 236
【4月】						
中村齋	げんき 編・発行所記載なし		512		A4	32
	アイヌ千一夜物語8 ポロシルンカムイになった少年					10
	仙台陣屋かわら版 森竹竹市遺稿集『銀鈴』増刷 他にも関係記事あり		4.1版	仙台藩白老陣屋かわら版	A4	2 1
	静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		665	静内町	A4
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トマ (エゾエンゴサク)					後表紙
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	広報びらとり		524	平取町役場	A4	18
	二風谷アイヌ文化博物館だより					18
【5月】						
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ		948	帯広市企画部広報課	A4	20
内田祐一	アイヌの人々の生活96 ク (弓)					20
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき この号から発行所変更		513	白老町企画課元気まち推進係	A4	19
中村齋	白老中核イオル整備構想 アイヌ千一夜物語9 地名の消滅は文化の危機					2～3 10
	静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		666	静内町	A4
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ソルマ (クサソテツ)					後表紙
【6月】						
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ		949	帯広市企画部広報課	A4	20
内田祐一	アイヌの人々の生活97 イトゥンナッ (アリ)					20
山科ももじろう	日本人の起源 : 北から来た森の民			文芸社	B6	213
山科ももじろう	アイヌと日本人の起源 他にも関係記述あり。					127～137
河合敦	目からウロコの日本史 原版は1999年8月発行。			PHP 研究所	文庫	350
河合敦	定説くつがえる! 極寒地のアイヌも農耕民族だった					265～267
吉原秀喜	道博協ニュース [日胆地区 News]イオル構想を事例に社会的貢献のあり方探る : 日胆地区連絡協議会の総会・研究協議		78	北海道博物館協会	A4	8 4
	金両基	キム先生の人権のおはなし : 感性にひびく48章			明石書店	A5
金両基	他民族国家への産声					28～29
梅原猛	梅原猛著作集12 人間の発見			小学館	B6	734
梅原猛	松浦武四郎 初出は『朝日新聞』1991年6月3日付、その後梅原猛『百人一語』(朝日新聞社、1993年、のち新潮文庫、1996年)に収録。					112～113

2003 補遺 6～9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
梅原猛	埴原和郎氏のこと 初出は『日本研究』8集 (国際日本文化研究センター、1993年)。					551～559
斎藤朋久 斎藤文承	石仏庵記 Ⅲ ウタリ之神と石 初出は『愛石の友』1997年8月号。			石乃美社	B5	275 260～261
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		667	静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ペペロ (ユキザサ)					後表紙
石井淳平	北方島文化研究 北海道出土の中世陶器とその世界		1	北方島文化研究会 (発売：北海道出版企画センター)	A4	61 39～50
佐藤方彦 (編)	日本人の事典			朝倉書店	B5	732
池田次郎	日本人の起源					1～17
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	広報びらとり		526	平取町役場	A4	12
	二風谷アイヌ文化博物館だより					12
【7月】						
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき		515	白老町企画課元気まち推進係	A4	25
中村齋	アイヌ千一夜物語 11 昔コタンがあった場所					14
堀田貢得	事例・差別表現 民族問題に関わる差別表現			大村書店	B5	271 116～166
旭川市博物館 瀬川拓郎 鹿田川見	みゅじあむ 【学芸員解説】干鮭のはなし I 所蔵品目録から		20 84	旭川市博物館	A4	16 3 6
昔ばなし研究所 (編) 小澤俊夫	季刊 子どもと昔話 【特集】「炎の馬」の文法		16	古今社	A5	72 12～23
乳井昌史	スローで行こう : 「自然環境」を考える44冊			日本放送出版協会	B6	239
乳井昌史	“分際”を忘れた現代人 : 『クマにあったらどうするか』語り手・姉崎等 聞き書き・片山龍峯					83～87
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		668	静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ランコ (カツラ)					後表紙
北海道教職員組合、北海道私立学校教職員組合 (編)	北海道の教育 第37集 : 第52次合同教育研究全道集会 (小樽) 報告 平和・人権教育 第14分科会報告。			北海道教職員組合、北海道私立学校教職員組合	A5	605 303～325
【8月】						
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ		951	帯広市企画部広報課	A4	20
内田祐一	アイヌの人々の生活98 アイヌの人たちと川					20
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき		516	白老町企画課元気まち推進係	A4	21
中村齋	アイヌ千一夜物語 12 北海道開拓とアイヌ1					10
『月刊みんぱく』編集部 (編)	世界民族博物誌			八坂書房	B6	323
大塚和義	ヒグマ					147～149
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		669	静内町	A4	
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 コサ (カラハナソウ)					後表紙

2003 補遺 9～11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【9月】						
佐賀郁朗	受難の昭和農民文学 : 伊藤永之介 と丸山義三、和田伝			日本経済評論社	B6	229
佐賀郁朗	奢れる人びとに残した鶴田知也の「遺偶」 『コシャマイン記』に言及あり。					205～210
白老町企画課元気まち推進 係(編)	げんき		517	白老町企画課元気まち推進係	A4	21
中村齋	アイヌ千一夜物語13 北海道開拓とアイヌ2					10
小泉文夫	小泉文夫著作選集3 民族音楽紀行 エスキモーの歌			学習研究社	B6	336
小泉文夫	消えていく楽器 トンコリ 出典は『エスキモーの歌』(青土社、1978年)					327～330
野本正博、鹿田川見、 貝澤徹、貝澤真紀	国土交通 北からの発信 アイヌの伝統と文化 座談会 アイヌ文化のいま	56	9	運輸振興協会、建設広報協議会、 国土計画協会、北海道開発協会	A4	78～81
宮野恭子(執筆)、北海道 新聞社(編)	北の匠 : 息づく伝統技術 アツシ織り 遠山サキ(浦河)			北海道新聞社	B5	161
静内町総務部企画課広報広 聴係(編)	広報しずない アイヌ民俗資料館 アイヌ植物採録 シキナ(ガマ)		670	静内町	A4	後表紙
平取町役場企画課広報広聴 係(編)	広報びらとり 二風谷アイヌ文化博物館だより		528	平取町役場	A4	18
						18
【10月】						
白老町企画課元気まち推進 係(編)	げんき		518	白老町企画課元気まち推進係	A4	23
中村齋	アイヌ千一夜物語14 サケを捕る					12
服部一景(文)、本田哲也 (絵)	〔創作〕とかち千年の森伝説 カムイ の森			森の出版社(発売:十勝千 年の森)	22×23	
えりも町郷土資料館(編)	えりも町ふるさと再発見シリーズ3 えりも・猿留山道			猿留山道復元ボランティア 実行委員会	A4	58
石巻文化センター(編)	特別展 毛利コレクション アイヌ資 料展 石巻市市制70周年記念事業。			石巻文化センター	A4	16
静内町総務部企画課広報広 聴係(編)	広報しずない アイヌ民俗資料館 アイヌ植物採録 エント(ナギナタコウジュ)		671	静内町	A4	後表紙
山本博文(監修)	面白いほどよくわかる江戸時代 幕府の北方での間接外交 : 松前藩のアイヌ支配			日本文芸社	B6	335 98～97
犬塚康博	あいだ 「フォーラム」を睥睨する「神殿」 : 「アイヌからのメッセージ」展の 吉田憲司フォーラム論批判		94	『あいだ』の会	B5	36 2～15
【11月】						
帯広市企画部広報課(編)	広報おびひろ アイヌの人々の生活99 海での漁や採集		954	帯広市企画部広報課	A4	20 20
白老町企画課元気まち推進 係(編)	げんき		519	白老町企画課元気まち推進係	A4	19
中村齋	アイヌ千一夜物語15 木彫りの熊					7
静内町総務部企画課広報広 聴係(編)	広報しずない アイヌ民俗資料館 アイヌ植物採録 アユシニ(クラノキ)		672	静内町	A4	後表紙

2003 補遺 11～12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
平取町役場企画課広報広聴係 (編)	広報びらとり		530		平取町役場	A4	14
	二風谷アイヌ文化博物館だより						14
【12月】							
帯広市企画部広報課 (編)	広報おびひろ		955		帯広市企画部広報課	A4	22
内田祐一	アイヌの人々の生活100 イタオマチッ (板綴り舟)						22
白老町企画課元気まち推進係 (編)	げんき		520		白老町企画課元気まち推進係	A4	23
中村齋	アイヌ千一夜物語16 冬を越える知恵						11
解放出版社 (編)	人権でめぐる博物館ガイド				解放出版社	A5	174
	『部落解放』2003年4月増刊号に新たに16館を加え単行本化したもの。						
野本正博	アイヌ民族博物館						6～7
萱野志朗	帯広百年記念館						8～9
	萱野茂二風谷アイヌ資料館						10～11
	川村カ子トアイヌ記念館						12～13
吉原秀喜	平取町立二風谷アイヌ文化博物館						16～17
静内町総務部企画課広報広聴係 (編)	広報しずない		673		静内町	A4	19
アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ラルマニ (イチイ)						後表紙
アレキサンダー・ホビン、長田俊樹 (編)	日本語系統論の現在 日文研叢書31				国際日本文化研究センター	B5	572
中川裕	日本語とアイヌ語の史的関係						209～220
千田稔、渡辺史生 (編)	吉田東伍 前期論考・随筆選 日文研叢書32				国際日本文化研究センター	B5	432
落後生	アイヌ博士の演説						173～175
	巻末に解題あり。初出は『読売新聞』附録(1892年3月13、15、16日付)。						
落後生	史海 久米氏 第十八巻						189～195
	初出は『読売新聞』附録(1892年12月22、25、27、28日付)。						
落後生	史海 柏木氏の弁駁 (第二十一巻)						203～205
	初出は『読売新聞』附録(1933年4月20、21日付)。						
	ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (JAPANESE SERIES) [人類学雑誌]	111	1		Anthropological Society of Nippon [日本人類学会]	B5	117
余郷嘉明、鄭懷顛ほか	アイヌから検出された JC ウイルス DNA の系統解析 : アイヌの起源と多様性の解明へ向けて						19～34